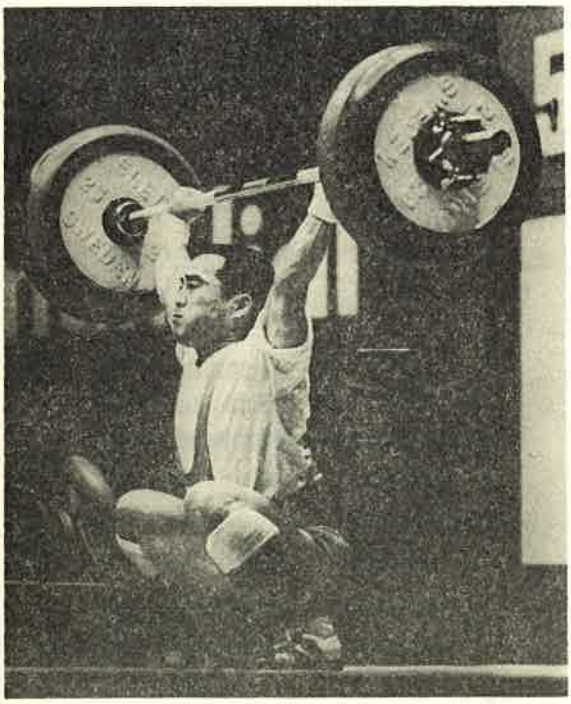
世界選手権の国別対抗で日本は6位入賞。表彰状と大会参加記念プレート。



バンタム級 スナッチ の第一人者，三木功司選手は117.5*。の世界新記録をマークして堂々と金メダル獲得（トータル記録では銅メダル）。フライ級の堀越武，フェザー級の平井一正両選手ともども世界のトップレベルをいく日本選手のスナッチの試技は各国注目の的だった。（大会組織委員会提供写真＝左下はシンボルマーク）

ウエイトリフティング

No.6　　Autumn, 1973

目　次

公認記録

日本，日本高校，世界，ジュニア世界記録……2
世界選手権大会報告……7
ＩＷＦ年次総会に参加して……7
ＩＷＦ医事委員会に出席して……8
今回の世界選権のポイント……9

大会成績

第27回世界選手権大会……12
第33回全日本選手権大会兼
　　世界選手権代表選考会……19
第20回全国高校選手権大会（インタハイ）……22
第28回国民体育大会（千葉団体）……31
朗報・重症の森江君急転快方へと，手記……41
ウエイトリフティングよもやまばなし（その４）…43
日本協会法人化その後の動き……44
法人化基金納入状況……45

公認記録

日本記録，高校記録は年二回に分けて公認される。（後期１月１日付け＝前年の12月31日までに樹立されたもの，前期９月１日付け＝８月31日までに樹立されたもの）

世界記録，同ジュニア記録は日本の場合と違い，樹立のつど公認される。ただしＩＷＦ（国際ウエイトリフティング連盟）事務局発行の会報が加盟各国に届いた時点を基準とするので数週間のずれが生じる。

競技ルール上，トータル記録はすべて2.5㌔。きざみ。スナッチ，ジャークの種目別記録では，特別試技の関係上，世界記録，ジュニア世界記録に限って2.5㌔。きざみとなっている。ただし日本記録，高校記録でも，その新記録が樹立された時点で，世界新記録に該当したときはそのまま認められる特例となっている。（フライ級スナッチと，フェザー級ジャークの各日本記録がその例）

日　本　記　録

Japan National Records

48年９月１日　前期公認分　　☆印は世界記録

級	種目	記録	氏名	所属	年月日	大会名
F フライ	スナッチ	☆105.5	堀越　武	昭和アルミ	48. 9.15	第37回世界選手権
	ジャーク	127.5	植木　守	千葉県庁	48. 7. 6	第33回全日本選手権
	トータル	225	堀越　武	昭和アルミ	48. 7. 6	第33回全日本選手権
B バンタム	スナッチ	(☆)117.5	三木　功司	自衛隊体校	48. 7. 6	第33回全日本選手権
	ジャーク	137.5	一ノ関史郎	秋田	48.10.29	第18回国体（山口）
	トータル	252.5	一ノ関史郎	法大	40.10.27	第20回世界選手権
Fe フェザー	スナッチ	☆125.5	三宅　義信	埼玉	44.10.28	第24回国体（長崎）
	ジャーク	153	三宅　義信	埼玉	44.10.28	第24回国体（長崎）
	トータル	☆277.5	三宅　義信	自衛隊体校	41.10.16	第21回世界選手権
L ライト	スナッチ	130	中田　高広	中京大	46.11.23	第10回西日本学生選手権
	ジャーク	170	加藤　正雄	中京大職	48. 7. 7	第33回全日本選手権大会
	トータル	297.5	小野　祐策	岐阜	47.11.26	東海四県選手権
M ミドル	スナッチ	145	大内　仁	警視庁	42. 6.18	第２回日・韓親善大会
	ジャーク	172.5	角南　保	明大	45.11. 8	第６回アジア大会代表選考会
	トータル	325	大内　仁	警視庁	42.10.18	メキシコプレオリンピック
L・H ライトヘビー	スナッチ	152.5	大内　仁	警視庁	44. 9.25	第23回世界選手権
	ジャーク	182.5	角南　保	名古屋鉄道	47.11.19	第９回全日本社会人選手権
	トータル	335	大内　仁	警視庁	44. 9.25	第23回世界選手権
M・H ミドルヘビー	スナッチ	145	大内　仁	東京	44.10.30	第24回国体（長崎）
	ジャーク	187.5	後藤　良一	後藤組	48. 7. 8	第23回全日本選手権
	トータル	327.5	大内　仁	東京	44.10.30	第24回国体（長崎）
H ヘビー	スナッチ	140	後藤　良一	福島	47.10.26	第27回国体（鹿児島）
	ジャーク	182.5	継岡　正章	自衛隊	45. 5. 5	第７回全日本社会人選手権
	トータル	320	後藤　良一	福島	47.10.26	第27回国体（鹿児島）

日　本　高　校　記　録

Japan Highschool Records

48年9月1日　後期公認分

級	種目	記録	氏名	所属	年月日	大会名
F フライ	スナッチ	95	今村　実	鎮西（熊本）	41.10.24	第21回国体（新潟）
	ジャーク	122	今村　実	鎮西（熊本）	41.10.24	第21回国体（新潟）
	トータル	215	今村　実	鎮西（熊本）	41.10.24	第21回国体（新潟）
B バンタム	スナッチ	100	小松　丈支	平工（福島）	39. 7.31	第11回全国高校選手権
	ジャーク	130	安藤　謙吉	土岐（岐阜）	43. 5.26	東海四県選手権
	トータル	235	後藤　節哉	鎮西（熊本）	45.10.11	第25回国体（岩手）
Fe フェザー	スナッチ	110	熊田　孝夫	大館南（秋田）	43. 4.21	第13回秋田県選手権
	ジャーク	142.5	熊田　順一	大館城南（秋田）	40.10.25	第20回国体（岐阜）
	トータル	247.5	熊田　順一	大館城南（秋田）	40.10.25	第20回国体（岐阜）
L ライト	スナッチ	115	小島　隆政	土岐商（岐阜）	41. 5.22	東濃地区高校新人戦
	ジャーク	150	熊田　順一	大館城南（秋田）	41. 3.27	第10回秋田県選手権
	トータル	260	熊田　順一	大館城南（秋田）	41. 3.27	第10回秋田県選手権
M ミドル	スナッチ	120	藤代　末男	武庫工（兵庫）	43. 2.25	第2回阪神地区高校選手権
	ジャーク	150	後藤　良一	内郷（福島）	41.11.13	第15回福島県新人戦
	トータル	265	三石　悦雄	習志野（千葉）	43. 3.23	東京都高校春季大会
L·H ライトヘビー	スナッチ	122.5	三石　悦雄	習志野（千葉）	42.11.26	第5回東京都高校秋季大会
	ジャーク	147.5	大内　武	小名浜水産（福島）	40.10.25	第20回国体（岐阜）
	トータル	267.5	三石　悦雄	習志野（千葉）	42.11.26	第5回東京都高校秋季大会
M·H ミドルヘビー	スナッチ	112.5	加藤　輝男	利根農林（群馬）	46.11.23	前橋市民体育大会
	ジャーク	137.5	加藤　輝男	利根農林（群馬）	46.11.23	前橋市民体育大会
	トータル	250	加藤　輝男	利根農林（群馬）	46.11.23	前橋市民体育大会

〔註〕

・同年中に同一記録を樹立した場合は，樹立月日の早い方を，また同日中に2人以上の競技者が同一記録を更新したときは体重の軽い方を，それぞれ記録保持者とする。

・堀越選手のスナッチ記録は，前期公認後の樹立だが，世界記録と公認されたため，前期公認分に組み込まれた。

・三本選手のスナッチ記録は，日本記録としては全日本選手権大会におけるもの（非公認世界記録）を採用。

⊙前記後認以後の日本新記録（未公認日本新記録）

▷フライ級　トータル　227.5*。（+2.5）
堀越　武（昭和アルミ）　9月15日　世界選手権

▷ミドルヘビー級　スナッチ　147.5*。（+2.5）
大内　仁（警視庁）　9月2日　全関東選手権

▷ミドルヘビー級　スナッチ　150*。（+5）
大内　仁（警視庁）　10月18日　第48回国体（千葉）

世　界　記　録

World Records

昭和48年12月1日現在

級	種目	記録	氏　名	国　名	年月日	場　所
F フライ	スナッチ	105.5	堀越　武　Takeshi Horikoshi	日　本	48. 9.15	ハバナ
	ジャーク	140	M. Nassiri　ナシリ	イラン	48. 9.15	ハバナ
	トータル	240	M. Nassiri　ナシリ	イラン	48. 9.15	ハバナ
B バンタム	スナッチ	117.5	三木功司　Kozi Miki	日　本	48. 9.16	ハバナ
	ジャーク	151	M. Nassiri　ナシリ	イラン	48. 8. 2	サナンタジ
	トータル	257.5	A. Kizov　キロフ	ブルガリア	48. 9.16	ハバナ
Fe フェザー	スナッチ	125.5	三宅義信　Yoshinobu Miyake	日　本	44.10.28	松浦
	ジャーク	158.5	Y. Golubtsov　ゴルブツォフ	ソ　連	48. 3.17	タシケント
	トータル	277.5	三宅義信　Yoshinobu Miyake	日　本	44.10.28	松浦
L ライト	スナッチ	137.5	W. Baszanowski バシャノウスキ	ポーランド	46. 4.23	リュブリン
	ジャーク	177.5	M. Kirzhinov　キルジノフ	ソ　連	47. 8.30	ミュンヘン
	トータル	312.5	M. Kirzhinov　キルジフ	ソ　連	47. 8.30	ミュンヘン
M ミドル	スナッチ	150.5	L. Jensen　イエンセン	ノルウェー	48. 4.28	コペンハーゲン
	ジャーク	190	N. Kolev　コレフ	ブルガリア	48. 9.19	ハバナ
	トータル	337.5	N. Kolev　コレフ	ブルガリア	48. 9.19	ハバナ
L・H ライトヘビー	スナッチ	161	V. Rizhenkov　リゼンコフ	ソ　連	48. 6.15	マドリッド
	ジャーク	201.5	V. Rizhenkov　リゼンコフ	ソ　連	48. 6.15	マドリッド
	トータル	355	D. Rigert　リゲルト	ソ　連	47.12.24	ソチ
M・H ミドルヘビー	スナッチ	170	D. Rigert　リゲルト	ソ　連	48. 6.16	マドリッド
	ジャーク	213.5	D. Rigert　リゲルト	ソ　連	48. 6.16	マドリッド
	トータル	380	D. Rigert　リゲルト	ソ　連	48. 4. 5	シャフトイ
H ヘビー	スナッチ	177.5	P. Pervushin　ペルブーシン	ソ　連	48. 6.17	マドリッド
	ジャーク	224	V. Ustyuzhin	ソ　連	48.10.14	
	トータル	400	P. Pervushin　ペルブーシン	ソ　連	48. 6.17	マドリッド
S・H スーパーヘビー	スナッチ	182.5	S. Reding　レディング	ベルギー	48. 6. 2	ブリュセル
	ジャーク	240	V. Alexeev　アレクセーエフ	ソ　連	48. 6.18	マドリッド
	トータル	417.5	V. Alexeev　アレクセーエフ	ソ　連	48. 6.18	マドリッド

訃　報

下記の方々が，ことしに入ってから相次いで亡くなられました。長年にわたり協会発展に尽くされた功績に感謝しつつ，謹んでご冥福をお祈り致します。

大河原宇明吉氏　前群馬県協会々長・前日本協議会常任理事　6月12日死去　行年71歳

田原　春次氏　元全日本学生連盟会長・元東京協会々長・元衆議院議員　7月14日死去　行年72歳

鈴木　善六氏　静岡県協会々長　7月28日死去　行年64歳

ジュニア世界記録

Junior World Records

昭和48年10月1日現在

級	種目	記録	氏名	国名	年月日	場所
F フライ	スナッチ	100	三木 功司 Kozi Miki	日本	41. 8.19	湯布院
	ジャーク	122	今村 実 Minoru Imamura	日本	41.10.24	湯布院
	トータル	210	佐々木哲英 Tetsuhide Sasaki	日本	40. 6. 6	東京
B バンタム	スナッチ	108.5	平井 一正 K. Hirai	日本	44.10.27	松浦
	ジャーク	137.5	一ノ関史郎 S. Ichinoseki	日本	38.10.29	下関
	トータル	245	一ノ関史郎 S. Ichinoseki	日本	38.10.29	下関
Fe フェザー	スナッチ	118.5	I. Kovaacs コバチス	ハンガリー	48. 5.11	ブタペスト
	ジャーク	150	加藤 正雄 M. Kato	日本	44. 7. 5	秋田
	トータル	262.5	加藤 正雄 M. Kato	日本	44. 5.11	東京
L ライト	スナッチ	125	M. Trabulsi トラバルシ	レバノン	44. 9.23	ワルシャワ
	ジャーク	162.5	加藤 正雄 M. Kato	日本	44.12. 7	名古屋
	トータル	285	N. Dehnavi デナビ	イラン	45. 7.11	ラザーイェー
M ミドル	スナッチ	143	T. Stoichev ストイチェフ	ブルガリア	48. 2.24	アセノブグラード
	ジャーク	180	A. Galkin ガルキン	ソ連	46.12. 6	エレバン
	トータル	315	A. Galkin ガルキン	ソ連	46.12. 6	エレバン
L・H ライトヘビー	スナッチ	145.5	T. Stoichev ストイチェフ	ブルガリア	48. 6.23	スリベン
	ジャーク	180	T. Stoichev ストイチェフ	ブルガリア	48. 6.23	スリベン
	トータル	322.5	T. Stoichev ストイチェフ	ブルガリア	48. 6.23	スリベン
M・H ミドルヘビー	スナッチ	151	A. Arabkhanov アラブハノフ	ソ連	47. 4.24	ハリコフ
	ジャーク	195	A. Shopov ショポフ	ブルガリア	46. 6.25	ソフィア
	トータル	340	A. Shopov ショポフ	ブルガリア	46. 6.25	ソフィア
H ヘビー	スナッチ	160	A. Kraichev クライチェフ	ブルガリア	46. 6.26	ソフィア
	ジャーク	205	A. Kraichev クライチェフ	ブルガリア	46. 6.26	ソフィア
	トータル	365	A. Kraichev クライチェフ	ブルガリア	46. 6.26	ソフィア
S・H スーパーヘビー	スナッチ	162.5	C. Plachkev プラチケフ	ブルガリア	48. 7.27	
	ジャーク	212	G. Bonk ボンク	東ドイツ	46. 7. 3	カールマルクススタット
	トータル	370	R. Mang マンク	西ドイツ	45. 1. 3	ベレンベルグ

アジア選手権　流れる

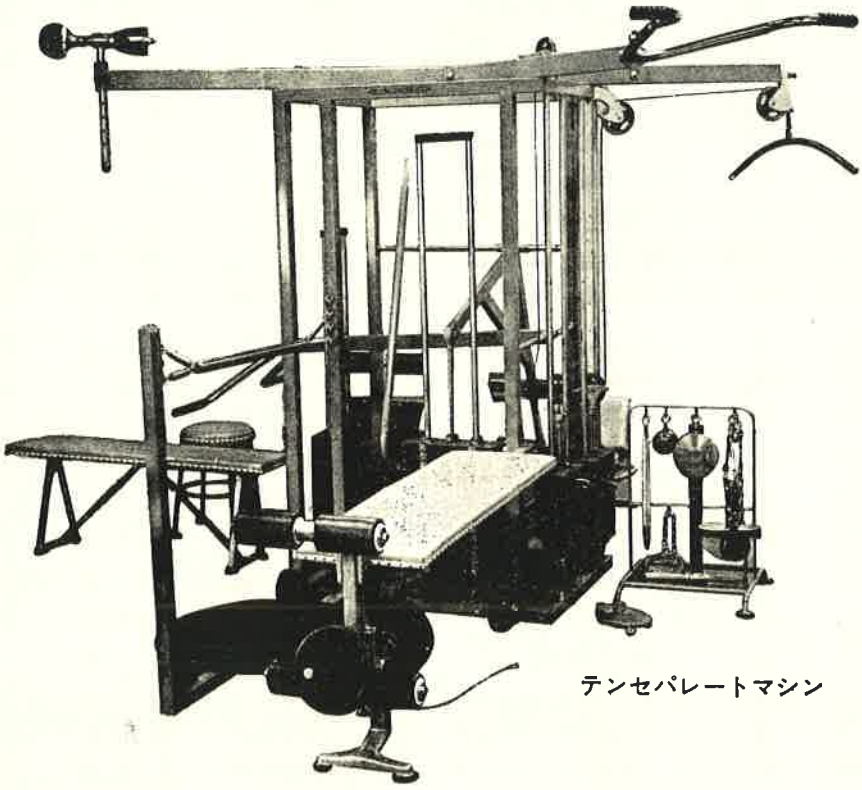
11月11日から13日までテルアビブ市で開かれる予定だった第1回アジア選手権大会（AWF主催）に参加する役員・選手の顔ぶれが下記のとおり決っていたが，第4次中東戦争発生のため派遣中止が10月の緊急理事会で決った。

監督　福井不二男（岐阜県協会理事長）
コーチ　八木　勇蔵（兵庫県協会理事長）
バンタム級　玉井　昇治（静岡・中京大）
　　高橋　力（愛知・名電工高教）
フェザー級　斎藤　隆（山形・日体大）
ライト級　中田　高広（岐阜・土岐ク）
ミドル級　角南　保（愛知・名古屋鉄道）
ライトヘビー級　藤代末男（兵庫・尼崎市教育委員会）

参加を目標としていた選手達の努力もさることながら派遣にあたって大いにバックアップされた関係者の熱意が実らなかったのは残念である。

TRAINING EQUIPMENT

これ一台で
全身の筋肉を鍛練出来る！



テンセパレートマシン

万能トレーニング器発売

詳細のお問合せは下記まで

ウェイトリフティング競技用器具製作
ウェイト，サーキットトレーニング用器具製作
各種体力づくり用器具製作

日本ウェイトリフティング協会指定工場

U.K 上坂鉄工所

東京都墨田区本所4丁目28番8号
電話（03）622局 8171～2・8096番

種目別を含めて 金2つ，銅3つ
国別対抗（団体得点）6位入賞のおみやげ

世界選手権大会報告（12ページ総合成績参照）

第27回世界選手権大会はことし9月キューバ共和国ハバナ市で行なわた。念願のフェザー級世界タイトル奪還はならず，トータル順位ではバンタム級三木選手の3位入賞が最高という成績にとどまった。しかし種目別ではフライ級堀越，バンタム級三木の両選手が実力を発揮して文句なく金メダルに輝いた。しかも両選手そろって世界新記録をマーク（堀越選手は特別試技において）し，日本の存在を印象付けた。フルエントリー9人に対して6人で臨んだ日本が，世界舞台初経験のフェザー級・平井，後藤両選手を含む健闘によって国別対抗で6位入賞を果たしたのは成果といってよいだろう。

日本選手団のメンバーは，関根吉郎団長，林克也監督に，フライ級，堀越武（昭和アルミ），植木守（千葉県教育庁），バンタム級・三木功司（自衛隊体育学校），フェザー級・平井一正（三重亀山高教員），後藤節哉（日大），ライト級・加藤正雄（中京大職員）の顔ぶれ。このほかIWF医事委員会委員である小野三嗣ドクターが大会直前に開かれた医事委員会に出席した。IWF技術委員会委員の井口幸男副会長は同委員会に欠席。（IWFの役員規定はきびしく，井口副会長は同委員会連続欠席の理由によりIWF技術委員から解任された）以下は3役員の報告記。

IWF年次総会に参加して

日本協会常任理事
国際部長
関　根　吉　郎

第27回世界選手権大会の直前に開催されたIWF年次総会に日本代表の資格で参加した。ハバナ市における総会の会場は選手村となっているホテルから東に約200㍍ほど坂を下たっところにある厚生省の中の会議室があてられた。ここは同時通訳の設備（日本製）があり，しばしば国際会議場として使われているところである。今回の会議では，公用語の英語，フランス語，スペイン語国のキューバということでスペイン語，それにソ連圏に有力国が多いということでソ連語の4カ語が同時通訳された。

会議はキューバ連盟のモーヤ会長の歓迎の挨拶に始まり，型通りIWFのショードル会長，ステート事務局長の報告など順調に進められた。

初めてこういう会議に出席した私を驚かせたことは，日本以外の各国が非常に多くの国際試合を開いているという事実だった。この12カ月の間に世界で大小合わせてじつに76回もあったと報告されていた。

提案事項では，若い選手を育てる意味で，23歳以下の選手だけの試合もとりあげていきたいという希望も述べられていた。

経理面の報告では，一年中のIWFの総収入が12,000ポンドあり，そのうちの，なんと75%にあたる9,000ポンドがテレビ収入によるものとのことだった。

役員人事ではビューローメンバー（理事）一人と，技術委員会委員の補欠選挙（編注＝井口委員の空席）があった。

世界選手権のジュリーとレフェリーを決めてからビューローミーティング（理事会）の決定事項の報告がありその中で中国問題に関するビューローの考え方と，それに基づく決定事項が報告され，若干の質疑があったのちビューロー案は可決支持された。

最後に74年のマニラから始って，75年のモスクワ76年のモントリオール，77年のフランクフルトからの世界選手権大会式はオリンピックの進行状況の説明があり，未決定であった78年79年はそれぞれインドネシア，ブルガリアに決った。次の80年はオリンピックであるから日本か世界選手権大会を招致するとなると早くて次の1981年ということになる。

総会は40カ国が参加し，10時に始まり，午後2時ごろ真夏を思わせる暑さの中に終了した。

IWF医事委員会に出席して

IWF医事委員会委員
日本協会トレーニング・ドクター
小　野　三　嗣

連盟規約の定めにより，ことしの IWF 医事委員会 (IWF MEDICAL COMMITTEE) は，世界選手権開会日の3日前9月12日に開かれた。委員会の構成メンバーは米国のライト氏を委員長とする7人，今回の出席はライト氏のほかスウェーデン，ブルガリア，ポーランドの代表と日本からの私，計5人だった。（欠席はイランとソ連の代表）

医事委員会の使命は，医学的な観点から選手の安全を計り，健康を確保するというところにある。その使命を達成するためには，ウエイトリフティングに関係する医学的情報を日常的に収集するとともに，機会あるごとにその情報を交換し合い，調査，研究，討議を行うことになっている。その一環として世界選手権大会が開かれる際には，同時に，研究発表会が行われることとなっている。今回も選手村にあてられたホテルのすぐそばにある同時通訳の設備の整った国際会議場で6題の発表が行われた。

今回の発表の中で最も印象が強かったのは，地元ハバナ市にある体育大学の副会長ロベルト・フェルナンデス・コルポ博士の研究発表。要点をかいつまんでみると，『どんな人でも右足と左足はいろいろな点で違いがあり決して同一ではない。従って健康維持という観点からもその足にあわせたクツを使用すべきで，ばく然と左右同じように作ったものをはくのは好ましくない。ましてウエイトリフティングの場合は，たとえば1～2㌢位の高さの違いでも重大な影響をあたえるのであって，必ず左右それぞれの足の機能を発揮するのにもっとも都合よく設計されたクツを使用しなければならない』ということだった。この点についてわれわれはほとんど研究していなかったので，果してどの程度の影響があるのか断言できないが，考えてみなければならない問題であると思われた。

選手の健康管理という点ではドーピング（興奮剤など薬物使用）もゆるがせに出来ない。いかなる種類の薬剤でも，精神的心理的作用以上の薬効は無く，むしろ有害危険な面は確認されているのだが，“かなわぬ時の神だのみ”とでもいうのだろうか，ときどき禁じられた薬物を使用する選手が見付かるからだ。今回もドーピングテストが行われることになったのだが，そのテストが厳正に行われるための設備が充分に整っているかを視察するのも医事委員会の任務の一つだった。翌13日にはキューバスポーツ医学会会長の案内で国立衛生検査所の状況を査察し，完全であることを確認した。

医事委員会の議題として取り上げられたもののうちもっとも重量なことは“競技規則改正に関するもの”だった。現行の規則では，レフェリーからダウンの合図を受けてからでも，バーベルは静かにプラットホームの上に置くようにされており，放り出してはいけないことになっている。今回問題になったのは，バーベルを静かに，ゆかにおろそうとする場合，手関節等にかかる衝撃や負

荷刺激には侵害作用が認められるかどうかということだった。この点について委員会は『危険性あり』という考えで意見が一致した。その結果，それでは競技ルールはどのように改正すべきかの討論が行われ，バーベルはヒザのところまで下げたらあとは手を放してもよいという意見と，私の『腰の線を過ぎたら放してもよい』という見解が対立した。ここで『あまり細かい点はふれず，とにかく現行ルールは有害だから改訂せよ』という委員長の意見が出されて翌14日の理事会に審議をゆだねることとなった。IWFの会議決定通知によると，小野ドクターの意見が通り，腰の線を通過すれば手を放してもいいことになった。“別記ブレティンから”(48ページ参照)。

医事委員会の使命は重要だということを痛感した。今後ますますこの方面は検討されなければならない。日本におけるウエイトリフティング関係の各位に，選手強化の面だけではなく，健康管理に関するわれわれの今後の活動に対して，倍増のご支援を期待したい。

以上帰国報告かたがたお願いまで。

今回の世界選手権のポイント

日本選手団監督
日本協会常任理事
林　克　也

競技開始前日（9月14日）の審判会議に出て，今回の世界選手権大会が，競技規則適用に当って厳しいものになることは予想された。平井君がスナッチ126*。を挙上したときは，初日の堀越君，2日目の三木君に続いて連日3日間にわたって日本選手によるスナッチ世界記録樹立，と喜んだものだ。ところが平井君の右腕の肘が少し曲がったことによって，反則と判定（赤ランプ2つ）されてしまった。試技直後，「あれは成功では……」との多くの同情が寄せられたが，判定についてはいかんとも出来なかった。プレス種目の廃止によって，スナッチ，ジャーク種目における判定がこれまでより相当厳しくなってきたことを如実に示すもので選手各位をはじめ，今後の重要な参考資料としたい。

日本選手のスナッチの強さは各国の注目の的で，日本選手に深い関心を持ち，本格的な指導を求めたいようなふん囲気だとさえ見受けられた。このようなことで，ことスナッチ種目に自信を持つとともに，スナッチ強化に異常なばかりの執念を燃やす各国の姿勢も身にしみて感じた。バンタム級においては，明らかに昨年度より著しく各国とも成長しているし，その他クラスでも，この種目のレベルは急速に上昇している。日本選手の“得意種目”として，とてものんびりしておれない状勢だ。

今大会で特に印象深いことは，バンタム級における王者，イランのナシリ選手が，現地において急拠フライ級に変更して登場したことだ。ジャークのスタート重量がすでに世界記録挑戦，最後の試技は140*。という途方もない世界記録樹立を果たしたこと。ナシリ選手の減量成功のことだけでなく，各国ともジャーク種目がものすごいばかりに強くなっていることを取り上げたい。

今大会は，ソ連チームが選手層の厚さと抜群の実力で昨年度の汚名をばん回し，昨年の覇者，ブルガリアがこれを追った。両国選手の力強いクリーンは見習う必要がある。高い位置でバーベルを受け止める“引き”の強さ，余裕ある“立ち”にみられる足腰の強じんさは，技術うんぬんよりも，その練習量の多さを物語っていると思われた。プレス種目が存在した時代はテクニックの向上が大きな課題であったと思うが，いまや，基本的な技術完成と練習量の増大が，一番要求されるといってよいだろう。

それにしても次期オリンピック大会で，日本選手の金メダル奪還は“至上命令”として受けとめている。その可能性は……。平井，後藤君とも若いし，力の内容でも第一級であったし，各国選手間でも折り紙付きだったことを付記したい。

ご苦労さま，日本選手団

後列左から関根団長，三木，後藤，加藤の各選手。前列左から林監督，堀越，平井，植木の各選手。小野ドクター--は会議参加後，ひと足先に帰国。

●日本選手の試合ぶり

日本選手試技内容　Sスナッチ，Jジャーク，Tトータル　○内数字は種目別順位

F	堀越	武＝S	97.5	102.5①	×105	J	×117.5	117.5	125⑤	T	◎227.5＝4位
				特別試技	☆105.5						
F	植木	守＝S	×87.5	87.5	×92.5	J	117.5	×122.5	×122.5	T	205 ＝12位
B	三木	功司＝S	112.5	×117.5	☆117.5①	J	130	135	×137.5	T	252.5＝3位
FE	平井	一正＝S	112.5	×120	×120	J	145③	×150	×150	T	257.5＝4位
				特別試技	×126						
FE	後藤	節哉＝S	×110	110	×117.5	J	140	×145	×145	T	250 ＝6位
L	加藤	正雄＝S	122.5	×127.5	×127.5	J	165③	×170	×170	T	287.5＝5位

〝静から動へ〟の
あの充実感あふれる
スナッチの一瞬。
緊張する筋肉が　実に
微妙な躍動をみせる。
タイミングを決める最後の
瞬間、ウェイトリフティング
専用のシューズ《タイガー®》が
勝利の重量を支える。
わッという観声がきこえる。

競技には　きょうもまた栄光のこのマシン

タイガー®ウェイトリフティング

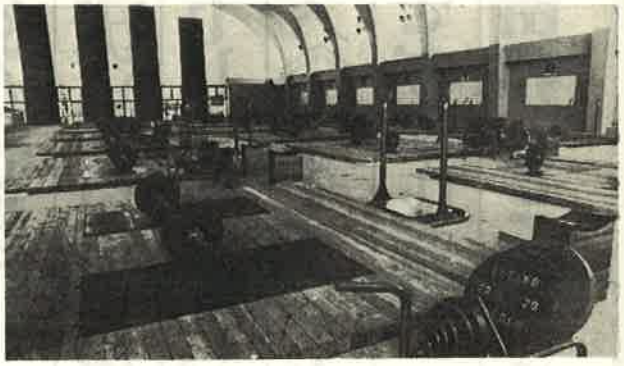
Onitsuka
Tiger®

競技専用シューズの総合メーカー　**オニツカ株式会社**　神戸・大阪・東京・福岡・名古屋・仙台・札幌

◇第27回世界選手権大会

（48年9月15日～23日　キューバ共和国・ハバナ市）

▲ 開会式



▶ 広びろとした練習場，21面ものサブリングが用意されている。

フライ級

☆印は世界記録

順位	氏　名	国　名	体重	トータル	ベスト S	ベスト J
1	M. Nassiri　ナシリ	イ　ラ　ン	51.9	☆240	100	☆140
2	L. Szücs　ジュックス	ハンガリー	51.7	230	97.5	132.5
3	Z. Smalcerz　スマルチェルツ	ポーランド	51.45	227.5	100	127.5
4	堀越　武	日　本	51.65	227.5	102.5	125
5	K. Köszegi	ハンガリー	51.7	222.5	95	127.5
6	I. Hortopan　ボルトパン	ルーマニア	51.85	217.5	100	117.5
7	C. Depthios　デプチオス	インドネシア	51.7	215	90	125
8	F. Casamayor	キ　ュ　ー　バ	51.85	212.5	92.5	120
9	S. del Rosario	フイリッピン	51	210	90	120
10	B. Pachol	チェコスロバキア	51.95	210	92.5	117.5
11	P. McKenzie	英　国	51.8	207.5	90	117.5
12	植木　守	日　本	51.95	205	87.5	117.5
13	R. Esteva	ベネズェラ	51.95	200	87.5	112.5
14	S. Galli	イ　タ　リ　ア	51.7	197.5	82.5	115
15	S. Stresser	フ　ラ　ン　ス	51.8	195	85	110
16	L. Francel　フランセル	コロンビア	51.9	195	82.5	112.5
17	J. Zarrage	ベネズェラ	51.55	192.5	82.5	110
18	S. Castillo	パ　ナ　マ	51.25	180	75	105

順位	氏　名	国　名	体重	トータル	ベスト S	ベスト J
19	J. Gurewitz	イスラエル	51.7	180	82.5	97.5
20	C. Ortiz	ドミニカ	51.3	172.5	70	102.5
	M. Nasehi　ナセヒ	イラン	52	0	87.5	0
	C.H. Chan　チャン	カナダ	52	0	82.5	0
	S. Lopez	メキシコ	51.8	0	80	0
	N. Oran	パナマ	51.45	0	75	0
	U. Nasution	インドネシア	51.4	0	0	

〔種目別メダル獲得者〕

スナッチ			ジャーク		
1	堀越　武	102.5	1	ナシリ	140
2	スマルチェルツ	100	2	ジュックス	132.5
3	ホルトパン	100	3	スマルチェルツ	127.5

（注）堀越　スナッチ4回目 105.5　世界新記録

バンタム級

1	A. Kirov　キロフ	ブルガリア	55.65	☆257.5	110	147.5
2	G. Todorov　トドロフ	ブルガリア	55.65	255	112.5	142.5
3	三木　功司	日　本	55.85	252.5	☆117.5	135
4	I. Földi　フェルディ	ハンガリー	55.7	247.5	110	137.5
5	K. Prohl　プロール	チェコスロバキア	55.9	245	102.5	142.5
6	C. Lastre	キューバ	55.65	240	105	135
7	J. Romero	コロンビア	55.8	232.5	102.5	130
8	D. Malaki	イラン	55.9	230	100	130
9	J. Conde	メキシコ	55.6	227.5	97.5	130
10	A. Pawlak	ポーランド	55.7	227.5	100	127.5
11	I. Rodriguez	ベネズェラ	55.9	200	85	115
12	R. Lindeborg	オランダ領アンチレ	55	197.5	87.5	110
13	L. Cordero	ドミニカ	55.8	197.5	87.5	110
14	G. Boyd	パナマ	55.8	192.5	82.5	110
15	R. Paulino	ドミニカ	55.7	187.5	82.5	105
16	V. Roman	ベネズェラ	55.5	177.5	72.5	105
	S. Czyz	ポーランド	55.8	0	100	0
	M. Ghasemi	イラン	55.2	0	0	

スナッチ			ジャーク		
1	三木　功司	117.5	1	キロフ	147.5
2	トドロフ	112.5	2	トドロフ	142.5
3	キロフ	110	3	プロール	142.5

フェザー級

1	D. Shanidze　シャニーゼ	ソ　連	59.8	272.5	120	152.5
2	N. Nurikyan　ヌリキャン	ブルガリア	59.7	267.5	115	152.5
3	J. Wojnowski　ボイノウスキー	ポーランド	59.5	257.5	115	142.5

順位	氏　名	国　名	体重	トータル	ベスト S	ベスト J
4	平井　一正	日　本	59.9	257.5	112.5	145
5	R. Chang　チャン	キューバ	59.6	252.5	112.5	140
6	後藤　節哉	日　本	60	250	110	140
7	P. Tanti　タンチ	イタリア	59.6	235	100	135
8	A. Delvari	イラン	60	232.5	102.5	130
9	E. Velazquez	コロンビア	59.1	225	95	130
10	A. Santoyo	メキシコ	59.3	225	100	125
11	D. Robertson	カナダ	59.8	225	100	125
12	R. Wood	ベネズェラ	58.6	217.5	95	122.5
13	I. Martinez　マルチネス	パナマ	59.2	215	95	120
14	C. Arenas	コロンビア	59.6	200	85	115
15	O. Lopez	ベネズェラ	58.9	190	80	110
	J. Benedek　ベネデク	ハンガリー	59.9	0	122.5	0
	K. Pittner　ピットナー	オーストリア	59.5	0	115	0
	P. Reyes	ドミニカ	59.5	0	90	0
	H. Dania	オランダ領アンチレ	58.2	0	85	0
	M. Medina	メキシコ	59.2	0	0	

スナッチ

1	ベネデク	122.5
2	ジャニーゼ	120
3	ピットナー	115

ジャーク

1	ヌリキャン	152.5
2	シャニーゼ	152.5
3	平井　一正	145

ライト級

1	M. Kirzhinev　キルジノフ	ソ　連	67.2	305	130	175
2	M. Kuchev　クチエフ	ブルガリア	66.7	302.5	132.5	170
3	P. Yanev　ヤネフ	ブルガリア	67.25	292.5	130	162.5
4	J. Bagocs	ハンガリー	67	290	125	165
5	加藤　正雄	日　本	66.35	287.5	122.5	165
6	N. Dehnavi　デナビ	イラン	67.3	287.5	125	165
7	D. Cantore	米　国	67.1	282.5	122.5	160
8	J. Ambrozi	ハンガリー	67.05	280	120	160
9	W. Legel	オーストリア	66.9	277.5	122.5	155
10	K. Czrnecki	ポーランド	66.55	275	122.5	152.5
11	E. Stefanoudakis	ギリシャ	67.25	275	125	150
12	F. Mateos	スペイン	66.95	270	120	150
13	R. Chavigny	フランス	67.2	270	122.5	147.5
14	A. Dalmanaki	イラン	66.2	265	117.5	147.5
15	G. Newton	英　国	67.3	257.5	115	142.5
16	A. Mandel	イスラエル	67	252.5	107.5	145
17	J. Martinez	コロンビア	67.3	250	105	145
18	M. Sabina	オランダ領アンチレ	67.25	247.5	110	137.5
19	V. López	プエルトリコ	66.9	242.5	110	132.5

順位	氏　名	国　名	体重	トータル	ベスト S	ベスト J
	J. Benjamin	米　国	66.85	0	0	150
	V. Robles	ベネズェラ	65.1	0	105	0
	A. Seigelshifer	アルゼンチン	67.4	0	0	Retired

スナッチ		ジャーク	
1　クチエフ	132.5	1　キルジノフ	175
2　キルジノフ	130	2　クチエフ	170
3　ヤネフ	130	3　加藤　正雄	165

ミドル級

1	N. Kolev　コレフ	ブルガリア	73.65	337.5	147.5	190
2	P. Wenzel　ウェンツェル	東ドイツ	74.55	317.5	140	177.5
3	A. Stark　シュターク	ハンガリー	74.4	312.5	135	177.5
4	V. Mikhailov　ミハイロフ	ソ　連	74.5	312.5	137.5	175
5	P. Baczako	ハンガリー	74.1	302.5	135	167.5
6	J. Kraczkowski	ポーランド	74.35	302.5	132.5	170
7	J. Waterworth	オーストリア	74.85	290	130	160
8	P. Cruz	キューバ	74.35	285	125	160
9	S. Bailey	トリニダッドトバゴ	74.95	282.5	122.5	160
10	P. Spirou	ギリシャ	74.55	280	120	160
11	F. de la Rosa	スペイン	74.85	277.5	120	157.5
12	M. Berkowitz	イスラエル	74.95	270	120	150
13	M. Perron	カナダ	74.8	267.5	110	157.5
14	T. Bennett	英　国	75	265	120	145
15	V. Cortés	コロンビア	74.7	262.5	115	147.5
16	J. Cordero	ドミニカ	71.5	255.5	112.5	142.5
17	C. Leveque	アルゼンチン	74.35	250	105	145
18	H. Lindsay	パナマ	73.85	257.5	107.5	140
19	N. Sepúlveda	ポルトガル	72.05	235	102.5	132.5
	J. Cepeda	パナマ	74.2	0	105	0
	F. Torres	ポルトガル	71	0	100	0
	F. Lowe	エクアドル	79.95	0	0	167.5
	D. Turcato	イタリア	74.65	0	0	Retired
	M. Trabulsi　トラバルシ	リビア	73.3	0	0	0
	P. Jalayer	イラン	73.95	0	130	0
	O. Hekel　ヘッケル	チェコスロバキア	74.45	0	137.5	0

スナッチ		ジャーク	
1　コレフ	147.5	1　コレフ	190
2　ウェンツェル	137.5	2　シュターク	177.5
3　ヘッケル	137.5	3　ウェンツェル	177.5

ライトヘビー級

順位	氏　名	国　名	体重	トータル	ベスト S	ベスト J
1	V. Rizhenkov リゼニコフ	ソ　連	82	350	157.5	192.5
2	F. Zielecke ジーレッケ	東ドイツ	81.95	332.5	145	187.5
3	S. Sochanski ソチャンスキ	ポーランド	81.9	332.5	145	187.5
4	R. Milser	西ドイツ	82.05	332.5	145	187.5
5	N. Kamenopolski	ブルガリア	80.8	330	152.5	177.5
6	N. Ciancio	豪　州	82.3	327.5	145	182.5
7	G. Horvath	ハンガリー	82.4	327.5	140	187.5
8	M. Karchut	米　国	81.45	322.5	140	182.5
9	C. Jakavou	ギリシャ	82	320	142.5	177.5
10	A. Lopez	キューバ	82.1	315	135	180
11	R. Platzer	オーストリア	81.7	300	130	170
12	W. Hauser	スイス	81.4	297.5	132.5	165
13	M. Peraman	英　国	82.25	290	125	165
14	S. Fried	イスラエル	82.1	280	120	160
15	P. Acosta	プエルトリコ	81.3	272.5	122.5	150
16	G. Voisard	カナダ	86.6	270	115	115
17	V. Pagan	プエルトリコ	82.1	267.5	115	152.5
18	O. Marin	コロンビア	81.35	265	115	150
19	C. Demetrius	ジャマイカ	82	257.5	115	142.5
20	A. Rodriguez	パナマ	80.15	255	112.5	142.5
21	O. Montenegro	パナマ	80.55	250	110	140
22	A. Morales	ベネズェラ	78.5	242.5	97.5	145
23	K. Rivers	オランダ領アンチレ	80.6	242.5	102.5	140
24	J. Francisca	オランダ領アンチレ	81.15	240	102.5	137.5
	L. Jensen イエンセン	ノルウェー	81.55	0	160	0
	N. Iliadis	ギリシャ	81.7	0	145	0
	T. Ford	英　国	82.1	0	127.5	0
	S. Kaissi	レバノン	82.1	0	0	

スナッチ			ジャーク		
1	イエンセン	160	1	ジーレッケ	192.5
2	リゼンコフ	157.5	2	リゼンコフ	192.5
3	ソチャンスキ	145	3	ソチャンスキ	187.5

ミドルヘビー級

1	D. Rigert リゲルト	ソ　連	88	365	165	200
2	V. Kolotov コロトフ	ソ　連	89.5	360	157.5	202.5
3	P. Petzold ペツォルト	東ドイツ	88.4	357.5	160	197.5
4	A. Nikolov ニコロフ	ブルガリア	88.7	352.5	162.5	190
5	A. Radev	ブルガリア	89.3	352.5	155	197.5
6	J. Kailajärvi	フィンランド	89.1	347.5	155	192.5
7	N. Ozimek オジメク	ポーランド	86.5	342.5	152.5	190

順位	氏　名	国名	体重	トータル	ベスト S	ベスト J
8	M. Broillet	スイス	89.3	325	145	180
9	P. Grippaldi	米国	89.45	325	140	185
10	R. Hill	オーストリア	89.25	320	140	180
11	J. Curbelo	キューバ	89.3	320	140	180
12	G. Kennel	西ドイツ	85.5	310	130	180
13	J. van Lerberghe	ベルギー	89.45	310	140	170
14	J. Burns	英国	89.7	310	135	175
15	S. Wilson	カナダ	89.9	302.5	127.5	175
16	G. Gaudin	プエルトリコ	88.9	287.5	125	162.5
17	A. Walt	カナダ	89.7	275	122.5	152.5
18	S. Ben Lulu	イスラエル	89.65	272.5	117.5	155
19	A. Vargas	プエルトリコ	90	262.5	117.5	145
20	O. Amaya	ベネズェラ	83.6	235	95	140
	F. Capsouras	米国	89.75	0	0	

スナッチ

1	リゲルト	165
2	ニコロフ	162.5
3	ペツォルト	160

ジャーク

1	コロトフ	202.5
2	リゲルト	200
3	ペツォルト	197.5

ヘビー級

1	P. Pervushin ペルブーシン	ソ連	106.6	385	170	215
2	H. Losch ロッシュ	東ドイツ	106.8	370	155	215
3	J. Gonzalez ゴンザレス	キューバ	101.2	362.5	162.5	200
4	R. Strejcek ストレイチェク	チェコスロバキア	109.7	357.5	157.5	200
5	R. Vezzani	イタリア	107.5	352.5	152.5	200
6	P. Käks	東ドイツ	103.2	350	152.5	197.5
7	D. Westphal	西ドイツ	106.6	350	155	195
8	T. Rutkowski	ポーランド	104.3	340	150	190
9	R. Prior	カナダ	108.55	335	152.5	182.5
10	C. Hardy	カナダ	103.8	317.5	135	182.5
11	M. Karegarnezhad	イラン	107.35	315	140	175
12	G. Baransky	アルゼンチン	109.4	277.5	117.5	160
13	L. Gravini	コロンビア	91.1	272.5	120	152.5
14	N. Rangel	コロンビア	102.05	245	105	140
		スウェーデン	94.5	0	0	195
	T. Haara	フィンランド	108.9	0	0	190
	J. Stefan	米国	109.7	0	0	

スナッチ

1	ペルブーシン	170
2	ゴンザレス	162.5
3	ストレイチェク	157.5

ジャーク

1	ペルブーシン	215
2	ロッシュ	215
3	ゴンザレス	200

スーパーヘビー級

順位	氏　名	国　名	体重	トータル	ベスト S	ベスト J
1	V. Alexeev　アレクセーエフ	ソ　連	146.2	402.5	177.5	225
2	R. Mang　マンク	西ドイツ	131.3	400	180	220
3	S. Batishev　バティシェフ	ソ　連	136.1	392.5	175	217.5
4	G. Bonk	東ドイツ	146	382.5	160	222.5
5	P. Pavlasek	チェコスロバキア	155.6	375	162.5	212.5
6	J. Nagy	チェコスロバキア	133.1	360	150	210
7	A. Martinez	キューバ	110.4	350	142.5	207.5
8	F. Bernal	キューバ	128	350	145	205
9	T. Perdue	英　国	144.2	327.5	142.5	185
10	A. Kerr	英　国	118.7	325	145	180
11	H. Phillips	パナマ	112.5	302.5	137.5	165
	S. Reding　レディング	ベルギー	141		175	0

スナッチ

1	マンク	180
2	アレクセーエフ	177.5
3	バティシェフ	175

ジャーク

1	アレクセーエフ	225
2	ボンク	222.5
3	マンク	220

■ 国別得点表（得点対象は今回からトータルのほかに種目別も加えられた）

① ソ連 96　② ブルガリア 78　③ ハンガリー 50　④ 東ドイツ 47　⑤ ポーランド 38　⑥ 日本 33
⑦ キューバ 33　⑧ チェコスロバキア 25　⑨ イラン 23　⑩ 西ドイツ 20　⑪ イタリア 10　⑫ 豪州 9
⑬ 米国 9　⑭ コロンビア 6　⑮ ルーマニア・フィンランド 5　⑰ インドネシア 4　⑱ スイス 3
⑲ オーストリア・カナダ・英国・ギリシャ・メキシコ 3　㉔ トリニダッドトバゴ・フィリピン 2

■ 各国メダル獲得数

	ソ連	ブルガリア	ハンガリー	東ドイツ	ポーランド	日本	キューバ	チェコスロバキア	イラン	西ドイツ	イタリア	豪州	米国	コロンビア	ルーマニア	フィンランド	インドネシア	スイス	オーストリア	カナダ	英国	ギリシャ	メキシコ	トリニダッドトバゴ	フィリピン	ノルウェー
金	12	7	1	1	0	2	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
銀	8	7	3	6	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
銅	2	3	1	5	5	3	2	3	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
計	22	17	5	12	6	5	3	3	2	3	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

競技会成績

◇第33回全日本選手権大会兼世界選手権大会代表選考会

（48年7月6日～8日　茨城県北茨城市磯原中学校）

☆は世界記録
◎は日本新記録，タイはタイ記録
●以下はスナッチ種目での失格者

フライ級

	主審	副審
S	中村	飯高・塩手(満)
J	中村	飯高・塩手(満)

順位	氏名	所属	勤務先学校名	年令	体重	トータル	ベスト S	ベスト J	成功回数
1	堀越　武	栃木	昭和アルミ	30	51.7	◎225	◎☆タイ105	120	3（2—1）
2	植木　守	千葉	千葉県庁	26	51.9	222.5	95	◎125.7	5（2—3）
3	竹内　雅朝	学連	日体大	20	51.95	217.5	95	122.5	4（1—3）
4	佐々木孝知	愛知	トヨタ自工	23	51.7	190	82.5	107.5	2（1—1）
	屋根　下修	大阪	自営	23	51.65		97.5	0	
	小川　稔	学連	法大	21	51.8		90	0	

●善教　進（広島・佐伯産業），平良文男（沖縄・あげな中教）

上位選手試技内容（×印は失敗試技）①堀越＝S100　×105　105，J120　×125　×125　②植木＝S90　95　×97.5，J120　125　127.5　③竹内＝S×95　×95　95，J115　120　122.5

〔注〕堀越＝スナッチ4回目 105.5kg 失敗

バンタム級

	主審	副審
S	林	渡辺・福田
J	林	渡辺・福田

順位	氏名	所属	勤務先学校名	年令	体重	トータル	ベスト S	ベスト J	成功回数
1	三木　功司	埼玉	自衛隊体校	27	56	247.5	◎117.5	130	4（3—1）
2	玉井　昇治	学連	中京大	21	54.9	235	107.5	127.5	4（3—1）
3	高橋　力	愛知	名電工高教	25	55.65	227.5	97.5	130	3（1—2）
4	田中　憲雅	学連	拓大	25	55.7	225	100	125	2（1—1）
5	佐藤　正二	学連	日体大	21	55.8	225	100	125	3（1—2）
6	松ケ迫憲生	千葉	ユアサフナショク	25	55.55	222.5	100	122.5	2（1—1）
7	鵜飼　峰生	広島	新市町役場	23	55.55	220	100	120	
8	阿部　高一	新潟	福田組	27	55.7	220	95	125	
9	角野　勉	東京	自営	24	55.95	220	97.5	122.5	
10	鷹觜　文昭	岩手	盛岡三高教員	22	55.95	217.5	92.5	125	
11	二柳　順蔵	滋賀	勤労青年ホーム	25	55.6	210	90	120	
	佐々木哲英	東京	警視庁	28	56		105	0	
	上木　弘次	学連	法大	21	55.95		97.5	0	
	松本　博幸	学連	大商大	21	55.9		95	0	
	熊田　孝夫	茨城	高萩工高教	22	56		102.5	0	

●長谷川幸助（埼玉・長根商事）

①三木＝S110　115　117.5，J×130　130　×135　②玉井＝S100　105　107.5，J127.5　×132.5　×132.5　③高橋＝S97.5　×102.5　×102.5，J125　130　×132.5

エェザー級

	主審	副審
S	飯高	渡辺・塩手(総)
J	飯高	渡辺・塩手(〃)

順位	氏名	所属	勤務先学校名	年令	体重	トータル	ベスト S	ベスト J	成功回数
1	平井 一正	三重	亀山高教	23	59.7	262.5	117.5	145	2（1—1）
2	後藤 節哉	学連	日大	20	59.8	260	115	145	4（2—2）
3	小野 弘	東京	ミナト興産	23	60	250	107.5	142.5	2（1—1）
4	斎藤 隆	学連	日体大	20	59.6	247.5	102.5	145	3（1—2）
5	白井 勝	千葉	二宮小教	30	59.8	227.5	100	127.5	3（1—2）
	岩田 弘	東京	警視庁	20	59.8		100	0	

●三宅義行（埼玉自衛隊体校）

①平井＝S×117.5　×117.5　117.5，J145　×150　×150　②後藤＝S110　×115　115，J140　145　×150

③小野＝S107.5　×112.5　×112.5，J×142.5　×142.5　142.5

ライト級

	主審	副審
S	林	塩手(満)・藤技
J	林	塩手(満)・藤技

1	加藤 正雄	愛知	中京大職	23	66.55	295	125	◎170	3（1—2）
2	中田 高広	岐阜	土岐クラブ	24	67.05	282.5	127.5	155	4（2—2）
3	高田 邦彦	埼玉	自衛隊体校	21	67.15	272.5	120	152.5	3（1—2）
4	小野 光一	学連	明大	19	67.15	260	110	150	2（1—1）
	徳橋 政美	新潟	徳政商店	24	67		115	0	
	高尾 忠和	大阪	太陽テント	24	67.1		120	0	

●武田健二（埼玉・自衛隊体校），本多茂夫（東京・警視庁），小野祐策（岐阜・岐阜クラブ），岡倉季則（学連・大商大）

①加藤＝S125　×130　×130，J160　170　×172.5　②中田＝S120　127.5　×132.5，J150　×155　155

③高田＝S×117.5　×117.5　120，J145　×150　152.5

ミドル級

	主審	副審
S	五月女	森・小宅
J	五月女	森・小宅

1	角南 保	愛知	名古屋鉄道	24	74.45	300	135	165	3（2—1）
2	平間 繁夫	学連	大商大	21	72.7	280	130	150	2（1—1）
3	石川 隆一	千葉	八千代高教	24	74.15	272.5	117.5	155	4（2—2）
4	森野 覚志	東京	警視庁	23	74.6	272.5	112.5	160	2（1—1）
5	荒木 英夫	学連	名城大	20	71.05	270	120	150	2（1—1）
6	安藤 英二	東京	警視庁	24	75	270	115	155	2（1—1）
7	室野 秀則	愛知	トヨタ自工	22	69.9	240	105	135	
	三石 悦雄	千葉	ミナト興産	24	74.45		130	0	

●鈴木浩司（三重・東芝三重）

①角南＝S130　135　×137.5，J×165　×165　165　②平間＝S130　×135　×135，J150　×155　×155

③石川＝S112.5　×117.5　117.5，J×152.5　152.5　155

ライトヘビー級　　主審　　副審

S　野中　　森・柴田

J　野中　　森・柴田

順位	氏名	所属	勤務先学校名	年齢	体重	トータル	ベスト S	ベスト J	成功回数
1	藤代 末男	兵庫	尼崎市教育委員会	24	79.2	320	140	180	3（1—2）
2	大内 仁	東京	警視庁	29	81.95	320	147.5	172.5	3（2—1）
3	吉田 建規	学連	名城大	21	81.75	290	120	170	2（1—1）
4	辻 茂信	愛知	辻商店	32	77.7	255	115	140	2（1—1）
	堀 太	埼玉	自衛隊体校	25	81.5		125	0	

①藤代＝S140　×145　×145，J175　×180　180　②大内＝S140　147.5　×150，J172.5　×177.5　×177.5

③吉田＝S120　キケン，J170　175　177.5

ミドルヘビー級　　主審　　副審

S　五月女　　塩手(満)・中庭

J　五月女　　塩手(満)・中庭

1	後藤 良一	福島	自営	24	89	327.5	137.5	◎190	4（2—2）
2	市川 茂	東京	警視庁	25	87.9	277.5	122.5	155	2（1—1）
3	飯塚 憲吉	埼玉	自衛隊体校	21	83.7	267.5	117.5	150	5（3—2）
4	木村 明義	埼玉	自衛隊体校	21	84.3	260	115	145	3（2—1）
	稲葉 忠	千葉	東洋エンジニアリング	28	85.25		120	0	

①後藤＝S132.5　137.5　×140，J×180　180　190　②市川＝S×122.5　122.5　×127.5，J155　×160　×160

③飯塚＝S110　115　117.5，J142.5　×150　150

ヘビー級　　審判はミドルヘビー級と同じ

1	岩崎 雄二	東京	警視庁	24	104.1	295	127.5	167.5	4（2—2）
2	杉本 誠起	岡山	岡大砂田外科	27	98.7	290	127.5	162.5	4（2—2）
3	渡辺 泰行	千葉	中大教	30	94.4	285	122.5	162.5	3（1—2）
4	水田 幸男	大阪	千代田生命	23	93.95	277.5	122.5	155	2（1—1）
5	岡本 実	学連	法大	21	96.2	272.5	117.5	155	2（1—1）
6	篠宮 稔	千葉	国分高教	26	90.1	247.5	117.5	130	2（1—1）

①岩崎＝S122.5　×127.5　127.5，J162.5　×167.5　167.5　②杉本＝S×122.5　122.5　127.5，J155　162.5　×167.5　③渡辺＝S×122.5　×122.5　122.5，J155　×160　162.5

◇第20回全国高校選手権大会（インタハイ）

（48年8月2日～5日　三重県亀山市亀山高校体育館）

フライ級　　主審　　副審

S　広川　　野牧・八木

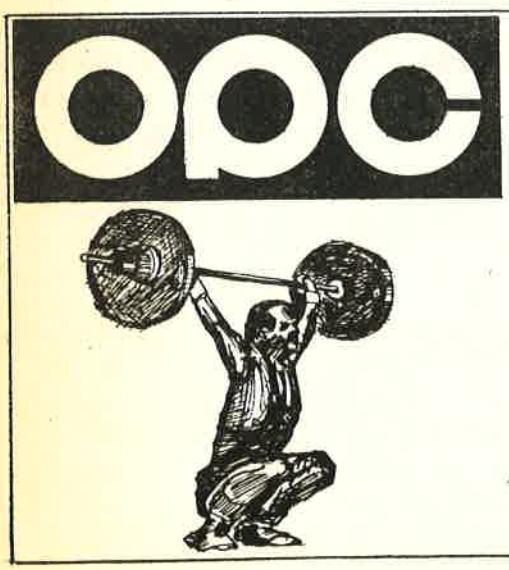
J　福井　　小林・鈴木

●印以下はスナッチ種目での失格者

個人スタート重量

S 70.0kg　J 92.5kg

順位	氏名	都道府県	学校名	学年	体重	トータル	ベスト S	ベスト J	国体 順位	国体 得点
1	中上　明彦	兵　庫	姫路東家島分	3	51.3	185	80	105		
2	白崎　中徳	福　井	福井農林	3	51.6	185	85	100		
3	田辺　博美	山　口	下関工	3	50.6	180	80	100	1	9
4	丸山　武彦	山　形	米沢工	3	51.8	180	82.5	97.5		
5	宮田　月夫	鹿児島	垂水	3	51.9	175	75	100	2	7
6	金子　喜彦	千　葉	習志野	3	50.8	172.5	77.5	95	3	6
7	絹川　和教	和歌山	和歌山工	3	51	172.5	77.5	95	4	5
8	岩崎　賢二	群　馬	藤岡工	3	51.4	172.5	75	97.5		
9	小林　寛	新　潟	三条工	2	50	170	77.5	92.5		
10	小森　清弘	鹿児島	鹿屋農	3	51.4	170	75	95		
11	小玉　昭夫	東　京	深川商	4	51.5	170	77.5	92.5		
12	富沢　良二	栃　木	葛生	3	51.5	167.5	75	92.5		
13	八倉巻外光	富　山	滑川	2	51.6	167.5	75	92.5		
14	近藤　勝幸	秋　田	秋田経大附	3	51.4	165	70	95	5	4
15	池田亜也夫	岩　手	岩谷堂農林	3	49.3	162.5	70	92.5	6	3
16	松村　和夫	三　重	亀山	3	50.6	162.5	70	92.5		



好　評

発売中！

※マーク入Tシャツ
※吊パン
※重量挙用品，用具
※その他トレーニング用品，用具各種

財団法人 体力つくり指導協会指定店
財団法人 日本アマチュアレスリング協会指定店

OPC オリンピックプロダクト 株式会社

東京本社　東京都渋谷区代々木4－27－24　☎(379)2331～4・(370)5540
大阪営業所　大阪府羽曳野市島泉9－207－1　☎0729(54)0564
NEW YORK本社　43 Polk Avenue, Hempstead L.I.N.Y. 11550. U.S.A.
工場　東京・足利

順位	氏名	都道府県	学校名	学年	体重	トータル	ベスト S	ベスト J	団体 順位	団体 得点
17	上原　孝	長崎	諫早農	3	50.7	162.5	70	92.5		
18	佐藤　和世	大阪	清風	3	51.8	162.5	70	92.5		
19	多久島末雄	佐賀	有田工	3	50.8	155	70	85	7	2
20	鈴木　孝司	茨城	高萩工	3	51.1	155	70	85	8	1
21	柴田　弘治	岐阜	土岐商	3	51.2	155	70	85		
22	高波　伸一	新潟	安塚牧分	3	49.4	150	70	80		
23	真鍋　正司	愛媛	新居浜工	2	50	150	67.5	82.5		
24	越川　邦彦	福井	坂井農	3	50.6	150	65	85		
25	荒木真佐志	静岡	東海大工	3	51	150	65	85		
26	我孫子　薫	山形	羽黒工	1	51.3	147.5	65	82.5		
27	村上　力	宮城	気仙沼水産	3	51.2	145	65	80		
28	朝倉　宗弘	福島	福島農蚕	3	51.6	145	65	80		
29	岡田　弘嗣	徳島	徳島工	2	50.3	142.5	60	82.5		
30	小島　重夫	埼玉	羽生実	3	47.8	137.5	62.5	75		
	中曽根正一	沖縄	中部農林	3	51.3	0	72.5	0		
	佐々木裕順	青森	八戸電波工	3	51.6	0	70	0		
	寺本　育夫	島根	出雲農林	2	51.7	0	70	0		
	鎌賀　秀夫	熊本	鎮西	2	52	0	70	0		
	数井　伸一	富山	富山商	2	50,6	0	65	0		
	西方　英海	福岡	東福岡	2	51.6	0	62.5	0		

●佐藤一幸（宮城）栗原農3，草野信行（福島）内郷3，渡辺文正（山梨）第一商3，奥村一敏（愛知）名城大3，安島将門（愛知）名電工2，下崎　昭（大阪）大阪工大3，島津謙二（福岡）築紫工3，前田政輝（佐賀）多久工2

バンタム級

	主審	副審
S	小林	福井・鈴木
J	野牧	八木・滝戸

個人スタート重量
S　75kg
J　95kg

順位	氏名	都道府県	学校名	学年	体重	トータル	ベスト S	ベスト J	団体 順位	団体 得点
1	斎藤　秀男	山形	庄内農	3	55.1	202.5	85	117.5		
2	山戸　保彦	兵庫	姫路東家島分	3	54.6	197.5	87.5	110		
3	大嶽　政則	長崎	諫早農	3	55	197.5	87.5	110	1	9
4	鈴木　正	秋田	秋田経大附	3	54.9	195	85	110	2	7
5	高松　勇治	栃木	小山	3	54.7	187.5	80	107.5	3	6
6	小山　治	和歌山	和歌山工	3	55.6	187.5	85	102.5	4	5
7	秋和　保男	東京	東亜商	2	55.2	182.5	77.5	105		
8	河内　拾久	大阪	大鉄	3	55.5	182.5	82.5	100		
9	新山　寿生	岡山	水島工	3	55.5	182.5	80	102.5	5	4
10	湯地　保雄	愛知	名電工	2	53.4	180	80	100		
11	福田　理一	山口	下関工	3	55.1	180	80	100	6	3
12	田中　泰弘	山口	下関工	3	55.2	180	75	105		
13	大山　清一	群馬	前橋工	3	55.3	180	80	100		
14	白幡　明彦	宮城	気仙沼水産	3	55.4	180	80	100	7	2
15	松本伊智朗	兵庫	明石北	2	55.8	177.5	72.5	105	8	1
16	鈴木　利光	茨城	高萩工	3	56	177.5	77.5	100		
17	加藤　則雄	千葉	習志野	3	55.1	175	75	100		

順位	氏名	都道府県	学校名	学年	体重	トータル	ベスト S	ベスト J	国体 順位	国体 得点
18	大竹 繁昌	宮城	小牛田農林	3	55.7	175	80	95		
19	前田 徹志	鹿児島	垂水	2	56	175	75	100		
20	大塚 久良	新潟	安塚・牧分	2	55.5	172.5	77.5	95		
21	西山本良二	沖縄	中部農林	2	54.6	170	75	95		
22	東口 譲	福井	坂井農	3	54.7	170	75	95		
23	高橋 秀好	岩手	岩谷堂農林	3	55	170	77.5	92.5		
24	渡辺 祐二	秋田	秋田経大附	2	55.6	170	75	95		
25	小泉 雅宏	静岡	東海大工	3	55.6	170	75	95		
26	片岡 平	三重	亀山	3	55.7	170	75	95		
27	広瀬 市三	岐阜	土岐商	3	54.8	160	70	90		
28	多久島 享	佐賀	有田工	2	54.9	160	70	90		
29	川崎 久登	島根	江津工	2	55.7	155	70	85		
30	白坂 俊昭	熊本	宇土	3	55.1	150	65	85		
31	菅野 太一	福島	福島農蚕	2	53.4	147.5	72.5	75		
32	若林 繁男	大分	大分工	2	55	145	65	80		
33	東 秀一	石川	金沢	2	55.6	145	65	80		
34	須原 尚徳	三重	四日市中央工	3	54.9	142.5	62.5	80		
35	松葉 洋次	広島	北川工	2	54.2	140	65	75		
36	卯木 明夫	埼玉	羽生実	3	55	140	60	80		
37	寿見 和夫	徳島	徳島工	2	53.1	135	55	80		
38	山田 隆人	北海道	当別	4	53.4	132.5	55	77.5		
39	鈴木 伸隆	千葉	習志野	2	54.6	122.5	52.5	70		
	加藤 義輝	愛媛	新居浜工	3	55.6	0	85			
	久保田正雄	青森	八戸工	2	54.7	0	75			
	西村 雄治	岐阜	中京商	3	54.8	0	75			
	田辺 修二	岡山	水島工	2	54.8	0	75			
	後藤 茂喜	福岡	筑紫工	2	55.5	0	75			
	柏葉 和正	岩手	専修大北上	3	55.7	0	75			
	宮本 正己	和歌山	串本	3	55.7	0	75			
	外処 康典	群馬	前橋育英	3	55.1	0	75			
	清水 武彦	茨城	高萩工	3	56	0	65			

●中村栄喜（福島）内郷3，岩崎隆之助（栃木）小山2，本田孔雄（山梨）日大明誠3，阪野久男（山梨）第一商3，宮本康好（福井）若狭農林3，吉岡正和（徳島）鳴門商2，馬場 康（長崎）諫早農3，土井博文（大分）大分3

フェザー級

	主審	副審
S	寺本	遠藤・村田
J	見目	仰木・石垣

個人スタート重量
S 80kg
J 100kg

1	近藤 信明	三重	四日市中央工	3	58.6	212.5	100	112.5	1	9
2	前盛 洋作	沖縄	八重山農林	3	58.3	207.5	92.5	115		
3	西田 太	三重	海星	3	58.8	197.5	87.5	110		
4	石井 春彦	秋田	五城目	3	58.3	195	87.5	107.5		
5	田中 稔	長崎	諫早農	3	57.3	190	85	105	2	7
6	佐藤 慎一	茨城	高萩工	3	57.5	190	82.5	107.5	3	6

順位	氏　名	都道府県	学校名	学年	体重	トータル	ベスト S	ベスト J	団体 順位	団体 得点
7	山本　義雄	兵　庫	明　石　北	2	56.8	187.5	82.5	105	4	5
8	山形　寿夫	青　森	五所川原工	3	59.6	187.5	80	107.5		
9	木谷　稔	山　口	下　関　工	3	57.1	185	80	105		
10	山中　信也	栃　木	小　　山	3	57.6	185	80	105		
11	安達　竜志	岡　山	倉　敷　商	2	58.2	185	85	100		
12	小村　藤男	島　根	出雲農林	3	59.1	185	80	105		
13	早坂　安美	宮　城	中　新　田	3	59.8	185	80	105		
14	渡辺　一晴	新　潟	三　条　工	2	59.7	182.5	82.5	100		
15	長安　義彦	兵　庫	武　庫　工	3	56.1	180	80	100		
16	小林　逸人	群　馬	前橋育英	2	57.3	180	80	100		
17	岡部　毅	大　分	大　分　工	3	58.5	180	80	100		
18	茅野八十次	大　分	日田林工	3	58.5	180	80	100		
19	補伽　光夫	長　崎	諫　早　農	3	59.1	180	80	100		
20	舘野　操	栃　木	小山城南	3	59.2	180	80	100		
21	西村　均	三　重	亀　　山	2	59.2	180	80	100		
22	羽賀　健一	山　形	米　沢　工	3	59.4	180	80	100		
23	福田　輝彦	愛　媛	松山聖陵	2	59.5	180	80	100		
24	工藤　浩	青　森	金　　木	3	59.5	177.5	80	97.5		
25	黒川　光行	埼　玉	羽　生　実	3	57.8	175	75	100		
26	菊地　常元	岩　手	岩谷堂農林	3	58.4	175	80	95		
27	塩飽　一文	広　島	北　川　工	3	59.3	175	75	100		
28	伊藤　政直	愛　媛	新居浜工	3	59.5	175	80	95		
29	板谷　和則	岡　山	水　島　工	2	56.8	170	75	95		
30	難波　省平	新　潟	安塚牧分	3	58.1	170	75	95		
31	井手　公市	福　岡	東　福　岡	3	59.1	170	75	95		
32	松田　郁夫	秋　田	秋田経大附	3	59.3	170	75	95		
33	田中　恵二	愛　知	名城大附	3	58.5	167.5	72.5	95		
34	下村　敏美	北海道	当　　別	3	59.6	165	70	95		
35	平岡　力	静　岡	東海大工	1	59.8	165	70	95		
36	斎藤　善昭	福　島	農　　蚕	2	57.2	160	70	90		
37	坂元　誠	東　京	城西大附	3	57.8	155	70	85		
38	高橋　潤一	富　山	富　山　商	2	59.2	155	70	85		
39	千葉　邦彦	千　葉	習　志　野	2	57.1	135	60	75		
40	村上　浩一	徳　島	徳　島　工	2	59.4	135	55	80		
	藤田　明博	北海道	夕　張　工	2	59.4	0	82.5			
	水上　利秋	宮　城	気仙沼水産	3	57	0	80			
	林　浩司	徳　島	鳴　門　工	3	57.4	0	80			
	岩間　信雄	茨　城	高　萩　工	2	58.6	0	80			
	岸　富士雄	福　岡	筑　紫　工	2	58.9	0	80			
	渡辺　裕司	愛　知	名城大附	2	59.6	0	80			

●佐藤祐一（山形）羽黒工３，阿部幸男（福島）湯本２，佐藤佳英（群馬）前橋工３，鈴木恒夫（東京）法大第一２，吉田雅則（神奈川）法大第二３，杉本秀樹（静岡）韮山３，滝本　純（和歌山）和歌山北３，長松忠夫（島根）江津工３，中山　啓（熊本）鎮西２

ライト級

	主審	副審
S	仰木	見目・石垣
J	遠藤	寺本・村田

個人スタート重量

S 82.5kg

J 105 kg

順位	氏名	都道府県	学校名	学年	体重	トータル	ベスト S	ベスト J	団体 順位	団体 得点
1	長木 豊	長崎	諫早農	3	65.4	230	100	130	1	9
2	金井 峰雄	新潟	安塚牧分	3	66.8	225	100	125	2	7
3	水迫 勇	鹿児島	垂水	3	65.9	222.5	100	122.5	3	6
4	志賀 高佳	福島	小名浜水産	3	66.5	222.5	97.5	125		
5	森川 浩一	福井	坂井農	3	65.8	215	95	120	4	5
6	菊川 勝也	愛媛	松山聖陵	2	66.5	215	95	120		
7	菅野 建也	岩手	岩谷堂	3	66.9	212.5	95	117.5		
8	高橋 昇	秋田	秋田工	3	64.3	205	87.5	117.5		
9	角田 智	青森	金木	3	64.8	205	95	110	5	4
10	菅原 俊樹	山形	羽黒工	3	65	205	100	105	6	3
11	渡辺 慎一	茨城	高萩工	3	61.4	202.5	87.5	115	7	2
12	木下 真智	大阪	大阪工大附	3	64.7	202.5	90	112.5	8	1
13	小野 善章	岡山	水島工	3	65.7	202.5	87.5	115		
14	松浦 義和	静岡	東海大工	3	62.1	200	90	110		
15	工藤 陽久	千葉	国分	3	66.1	200	90	110		
16	奥村 順一	岐阜	中京商	3	66.5	200	85	115		
17	武内 定義	福岡	東福岡	3	64	197.5	82.5	115		
18	秋田 康彦	熊本	宇土	3	64.3	195	85	110		
19	足立 誠	岐阜	土岐商	3	64.8	195	90	105		
20	鈴木 広志	三重	亀山	3	66.8	195	85	110		
21	植田利喜男	長崎	諫早農	2	62.5	192.5	87.5	105		
22	長浜 強	山梨	日川	3	63.2	192.5	87.5	105		
23	米田 秀之	徳島	徳島工	3	64	192.5	82.5	110		
24	常深 英登	兵庫	明石北	2	64.6	192.5	87.5	105		
25	吉村 孝一	熊本	鎮西	3	65.7	192.5	82.5	110		
26	渡辺 裕之	三重	三重	2	66.3	192.5	87.5	105		
27	高橋 義治	兵庫	明石北	2	66.6	192.5	82.5	110		
28	伊藤 謙司	山口	下関工	3	60.6	190	85	105		
29	稲葉 茂	栃木	小山園芸	3	63	187.5	82.5	105		
30	北谷 辰雄	神奈川	法大第二	3	61	185	82.5	102.5		
31	秋山 静男	栃木	小山	2	61.1	185	85	100		
32	安部 秋義	大分	大分工	2	60.5	180	80	100		
33	山本 義信	島根	江津工	3	62.5	180	80	100		
34	畠山登志晴	宮城	気仙沼水産	3	60.9	175	75	100		
35	中尾 光昭	佐賀	有田工	3	64.6	175	75	100		
36	中島 穣	富山	富山商	2	62.7	172.5	77.5	95		
37	小林 忠良	山梨	日大明誠	3	61.1	165	75	90		
38	木下 弘一	北海道	当別	3	62.5	152.5	65	87.5		
39	河原 健司	徳島	徳島工	2	65.3	150	65	85		
40	越村 治	石川	金沢	2	63.7	145	65	80		
	安西 弘	愛知	中京	2	66.9	0	90			

順位	氏名	都道府県	学校名	学年	体重	トータル	ベスト S	ベスト J	団体 順位	団体 得点
	小郷　均	岡山	倉敷商	3	67.2	0	85			
	菅野　和夫	茨城	高萩工	2	66.2	0	82.5			
	滝沢　俊	山形	羽黒工	2	62.7	0	82.5			
	寺沢　久	北海道	釧路第一	3	66.6	0	82.5			
	尾方　英士	東京	城西大附	3	64.3	0	80			

●稲垣則行（群馬）前橋工3，野本寿男（東京）法大第一2，中野久一（福井）若狭農林3，室伏康雄（静岡）沼津学園3，前芝雅彦（和歌山）串本3，神原 昇（福岡）筑紫工2，佐藤俊郎（大分）日田林工3，佐藤 伝（宮崎）延岡工3

ミドル級

	主審	副審
S	八木	村田・滝戸
J	福井	遠藤・鈴木

個人スタート重量
S　85 kg
J　107.5kg

1	小野　正	愛媛	新居浜工	3	68.7	235	105	130	1	9
2	高山　利一	山形	庄内農	3	67.6	217.5	92.5	125		
3	松本　貴臣	三重	亀山	2	67.8	217.5	97.5	120	2	7
4	金井　勝明	兵庫	神戸西	3	67.5	215	95	120		
5	斎藤　隆男	秋田	金足農	3	67.6	212.5	95	117.5		
6	目黒　正男	新潟	三条工	2	67.8	210	95	115		
7	鈴木　和雄	宮城	大河原商	3	70.9	210	95	115		
8	海崎　良仙	熊本	宇土	2	67.6	205	90	115	3	6
9	佐藤　正康	長崎	諫早農	3	67.7	205	90	115	4	5
10	原野　信広	岡山	水島工	3	71.2	205	90	115	5	4
11	芝野　賢悟	千葉	国分	3	73.1	202.5	90	112.5		
12	及川　賢	岩手	岩谷堂農林	3	68.8	200	90	110	6	3
13	長谷川哲生	三重	四日市中央工	3	74	200	92.5	107.5	7	2
14	川鍋　正行	栃木	葛生	3	67.6	197.5	85	112.5		
15	神山　繁則	静岡	東海大工	3	67.6	197.5	90	107.5		
16	工藤　佳信	青森	木造	2	67.7	197.5	90	107.5		
17	神吉　康彦	兵庫	明石北	2	69.3	197.5	87.5	110	8	1
18	木村　哲雄	大分	大分	3	69.7	197.5	90	107.5		
19	中川　康隆	福岡	筑紫工	3	72.4	197.5	85	112.5		
20	田中　玉男	山梨	第一商	3	68.6	192.5	85	107.5		
21	藤崎　吉夫	富山	富山商	3	69.7	190	87.5	102.5		
22	木田　久	青森	金木	3	73.4	190	80	110		
23	大隅　義和	山梨	日大明	3	74	190	80	110		
24	佐々木一夫	北海道	当別	3	68.5	187.5	82.5	105		
25	後藤　達俊	愛知	名城大附	2	69.6	187.5	82.5	105		
26	河野　正行	大分	大分工	3	67.8	185	80	105		
27	鈴木　英宜	栃木	小山	3	67.6	182.5	82.5	100		
28	山田　高弘	佐賀	有田工	2	67.6	180	80	100		
29	松尾　圭造	大阪	大阪工業大	2	69	180	80	100		
30	石原　努	島根	江津工	3	67.6	175	80	95		
31	玉置　宏吉	和歌山	和歌山工	2	68	175	80	95		

順位	氏　名	都道府県	学校名	学年	体重	トータル	ベスト S	ベスト J	国体 順位	国体 得点
32	島村　孝治	東　京	城西大附	3	68.8	165	70	95		
33	関口　宏幸	神奈川	法大第二	2	68	160	70	90		
34	楡原　道雄	群　馬	前橋育英	2	73.6	150	60	90		
	阿部　義之	福　島	福　島　工	3	67.7	0	85			
	牧野　政志	宮　崎	延　岡　工	3	67.7	0	85			
	利根川　博	群　馬	前　橋　工	2	68.5	0	85			
	前川　明久	三　重	神　　戸	2	73	0	85			
	河原　秀明	山　形	羽　黒　工	3	67.6	0	82.5			

●鈴木　勉（茨城）高萩工2，田中島伸介（東京）東亜商2，岡本修一（福井）若狭農林3，笹山成人（愛知）名電工3，平林信一郎（岐阜）土岐商2，牧尾和秀（大阪）大阪鉄道3，村田新平（長崎）諫早農3

ライトヘビー級

	主審	副　審
S	寺本	仰木・村田
J	滝戸	小林・石垣

個人スタート重量
S　85 kg
J　107.5kg

順位	氏　名	都道府県	学校名	学年	体重	トータル	ベスト S	ベスト J	国体 順位	国体 得点
1	戸松　実	秋　田	能　代　工	3	77.5	252.5	115	137.5		
2	佐藤　光正	宮　城	柴田農林	2	78.4	252.5	112.5	140		
3	長内　光春	青　森	木　　造	3	75.2	245	110	135		
4	舛田　英昭	岡　山	倉　敷　工	3	78.2	240	105	135		
5	駒田　良美	三　重	亀　　山	3	75.3	237.5	105	132.5	1	9
6	宮下　覚	愛　知	中　　京	2	75.2	227.5	105	122.5		
7	宮崎　一幸	鹿児島	垂　　水	3	75.9	225	95	130	2	7
8	佐久間清隆	岐　阜	土　岐　商	3	75.1	220	100	120	3	6
9	古川太賀男	和歌山	和歌山工	3	77.9	212.5	97.5	115	4	5
10	西山　準一	神奈川	日　　大	3	80.3	212.5	90	122.5		
11	小松　敏雄	秋　田	秋田経大附	2	78.5	210	90	120	5	4
12	青木　郁夫	福　島	湯　　本	3	80.2	205	87.5	117.5		
13	須網　和雄	愛　知	名城大附	3	75.2	200	85	115	6	3
14	近藤　英文	徳　島	鳴　門　商	3	75.3	195	85	110		
15	藤川　源治	長　崎	諫　早　農	3	75.1	192.5	85	107.5		
16	東　勝久	三　重	四日市中央工	3	76.5	192.5	85	107.5	7	2
17	河岸　基準	大　阪	大　工　大	3	81.6	185	80	105	8	1
18	阿久津　洋	群　馬	前橋育英	2	79.9	180	80	100		
19	村上　賢秀	石　川	金　　沢	2	78	175	70	105		
20	天野　恵造	山　梨	日　　大	2	80.9	175	75	100		
21	伊藤　哲徳	青　森	金　　木	3	80	170	70	100		
22	小柳　清孝	福　岡	東　福　岡	3	76.9	165	70	95		
	安田　幹雄	大　阪	東　住　吉	3	81.3	0	100			
	石渡　延治	栃　木	小山園芸	3	75.1	0	87.5			

●佐藤　篤（山形）羽黒工3，藤岡　悟（茨城）高萩工3，吉川清忠（富山）滑川1，森本信二（福井）若狭農林3，本部　進（静岡）沼津学園3

ミドルヘビー級

	主審	副審
S	寺本	仰木・村田
J	滝戸	小林・石垣

個人スタート重量

S　85 kg

J　107.5kg

順位	氏名	都道府県	学校名	学年	体重	トータル	ベスト S	ベスト J	国体 順位	国体 得点
1	大川　克弘	大阪	大阪鉄道	3	84	225	100	125		
2	劔持　司郎	山梨	日大明誠	3	82.6	220	100	120		
3	平原　孝二	東京	暁星	3	82.6	215	95	125		
4	小林　一男	秋田	大館工	3	83	210	92.5	117.5		
5	草川　芳弘	宮城	大河原商	2	88.4	205	90	115		
6	川北　訓夫	三重	四日市中央工	2	82.6	197.5	85	112.5		
7	曽我部　保	愛媛	新居浜工	2	86.5	197.5	90	107.5		
8	田淵　昭	和歌山	南部	3	83.6	192.5	85	107.5		

●長谷川博（北海道）東海第4，3，千明嗣雄（群馬）前橋育英2，江国亮一（兵庫）尼崎工3，皆尾一則（島根）出雲農林1，戸高　一（大分）大分2

学校対抗順位

①	諫早農（長崎）	30	②	垂水（鹿児島）	20	③	亀山（三重）	16
④	下関工（山口）	16	⑤	秋田経大附（秋田）	15	⑥	和歌山工（和歌山）	15
⑦	四日市中央工（三重）	13	⑧	新居浜工（愛媛）	9	⑨	小山（栃木）	9
⑩	高萩工（茨城）	9	⑪	水島工（岡山）	8	⑫	安塚牧分（新潟）	7
⑬	明石北（兵庫）	7	⑭	金木（青森）	7	⑮	習志野（千葉）	6
⑮	土岐商（岐阜）	6	⑮	宇土（熊本）	6	⑱	坂井農（福井）	5
⑲	岩谷堂農林（岩手）	3	⑲	羽黒工（山形）	3	⑲	名城大附（愛知）	3
㉒	気仙沼水産（宮城）	2	㉒	前橋育英（群馬）	2	㉒	有田工（佐賀）	2
㉕	大工大（大阪）	2	㉖	大分工（大分）	1			

効果てきめん

成功だった東京都の沖縄合宿

第3回強化合宿の地を沖縄に求めたわれわれ東京都チーム（山本文雄団長＝東京都協会副会長ら役員，選手計17人）は，東京から海路（一部空路）那覇市に向った。8月10日出発，しゃく熱の太陽を全身に浴びながら12日に到着した。さっそく出迎えてくれた沖縄県協会の伊波理事長，仲曽根，宇良君たちの旧友としばし歓談したあと，合宿地の東村平良湾，日本青少年ＳＣ（山本団長所有）と同庭内にある山本団長の別荘へ。同地は五月に開かれた沖縄国体の会場，名護市から30分，太平洋岸の最も景勝の地としてつとに有名なところで，銀砂のような砂浜と，抜けるような青空，蒼く澄みきった海はスモッグと媒煙に明け暮れるわれわれを，心から開放してくれた。翌13日から三面の広い練習場で，南国特有の乾いた涼しい風に練習も順調，地元村長さんはじめ名士，迷士の見学も相ついだ。重要感溢れるジャークの練習では気合，迫力に，さすがと感嘆の声しきりだって練習スケジュールも順調に進められ連日の練習場の活気は猛暑を上回るものだった。練習量に応じて選手たちの食欲もおう盛，すべてに楽しい合宿となった。トレーニングだけではなく1回目の休養日にあてられた北部沖縄縦貫ドライブでは秘境のような海岸の美しさと，熱帯魚の群遊 ↗

◇第17回全関東選手権兼
第28回国体高校関東地区予選会

（48年９月１日～２日　栃木県立小山高校）

〔一 般 の 部〕

◎印は日本新記録

フ ラ イ 級

①竹内雅朝（東　京）220（100—120）
②堀越　武（栃　木）215　③宮内貞四郎（埼玉）162.5

バンタム級

①長谷川幸助（埼玉）225（100—125）
②猪狩光正（栃　木）200　③馬目保幸（茨　城）195

フェザー級

①熊田孝夫（茨　城）235（110—125）
②白井　勝（千　葉）225　③上野正雄（群　馬）190

ラ イ ト 級

①高田邦彦（埼　玉）262.5（117.5—145）
②米田　迦（神奈川）250　③吉田正栄（茨　城）245

ミ ド ル 級

①森野覚志（東　京）265（110—155）
②飯島　真（山　梨）235　３位以下失格

ライトヘビー級

①安藤英二（東　京）280（120—160）
②石川隆一（千　葉）277.5　③小菅富十郎（栃木）260

ミドルヘビー級

①大内　仁（東　京）317.5（◎147.5—170）
②柴崎恒二（群　馬）267.5　③飯塚憲吉（埼　玉）265

ヘ ビ ー 級

①岩崎雄二（東　京）270（115—155）
②檜垣英治（山　梨）250　３位以下失格

〔高 校 の 部〕

同記録は体重差で順位を決定

フ ラ イ 級

①小玉昭夫（東　京）172.5（77.5—95）
②富沢良二（栃　木）170　③岩崎賢二（群　馬）167.5

バンタム級

①秋和保夫（東　京）182.5（75—107.5）
②高松勇治（栃　木）182.5　③鈴木利光（茨　城）177.5

フェザー級

①黒川光行（埼　玉）187.5（82.5—105）
②北谷辰雄（神奈川）187.5　③小林逸人（群　馬）185

ラ イ ト 級

①渡辺慎一（茨　城）197.5（82.5—115）
②工藤陽久（千　葉）195　③稲垣則夫（群　馬）192.5

ミ ド ル 級

①芝野賢悟（千　葉）210（92.5—117.5）
②大隅義和（山　梨）197.5　③川鍋正行（栃　木）190

ライトヘビー級

①剣持司郎（山　梨）210（95—115）
②藤岡　悟（茨　城）190　③阿久津洋（群　馬）175

↘　する見事さに選手たちは疲労を一ぺんに吹き飛ばしてしまったようだった。また漁船に分乗した魚釣り大会での迷手諸岡氏のボヤキもご愛敬。練習を21日に打上げ22日の夕刻は那覇で一泊。ショッピングに，郷土料理に舌づつみを打ちながら名産泡盛のトロケルようなうまさと香りを満喫沖縄最後の夢を結んだ。23日那覇を出発，24日全員無事帰京した。一週間後に開かれた全関東選手権に優勝したのを手初めに，10月の千葉国体では17年ぶりの優勝をあじわうことが出来た。沖縄合宿の成果をいかんなく発揮したわけです。合宿にあたって細心の注意と最大の経済力で応援してくださった山本副会長と沖縄協会の諸兄のご協力に厚く御礼申し上げたい。

◇第28回国民体育大会（千葉国体）

（48年10月15日～18日　千葉県船橋市，海神中学校体育館，日本建鉄KK体育館）

◀ 久方ぶり，ミドルヘビー級優勝を果たしたベテラン大内選手。地力のある後藤選手との激しいトップ争いの末だったが，得意種目のスナッチに 150 *。の日本新を出したのが有利な試合展開となった。

▽高校の部（第２会場一日本建鉄KK体育館）

フライ級　　主審　見目　　副審　桜井・関

●印以下はスナッチ種目での失格者

順位	氏名	都道府県	学校名	年齢	体重	トータル	ベスト S	ベスト J	成功回数
1	丸山　武彦	山形	米沢工	18	51.7	192.5	87.5	105	5（3－2）
2	中上　明彦	兵庫	姫路東家島分	17	51.85	190	85	105	4（2－2）
3	宮田　月夫	鹿児島	垂水	18	51.8	185	85	100	3（2－1）
4	小林　寛	新潟	三条工	17	51.4	182.5	82.5	100	4（3－1）
5	金子　喜彦	千葉	習志野	18	51.55	182.5	80	102.5	6（3－3）
6	田辺　博美	山口	下関工	17	51.1	180	80	100	4（2－2）
7	近藤　勝幸	秋田	秋田経大附	17	51.9	177.5	77.5	100	
8	小玉　昭夫	東京	深川商	19	52	175	77.5	97.5	
9	松村　和夫	三重	亀山	17	51.3	162.5	70	92.5	
10	真鍋　正司	愛媛	新居浜工	17	51.3	150	67.5	82.5	

上位者試技内容　①丸山＝S80　85　87.5，J100　105　×107.5　②中上＝S80　85　×87.5，J100　105　×110
③宮田＝S×80　80　85，J100　×105　×105

バンタム級　　主審　野牧　　副審　小林・桜井

1	斎藤　秀男	山形	庄内農	18	55.65	210	90	120	4（2－2）
2	山戸　保彦	兵庫	姫路東家島分	18	54.49	205	90	115	6（3－3）
3	鈴木　正	秋田	秋田経大附	17	55.7	197.5	87.5	110	3（2－1）
4	篠原　弘徳	鹿児島	鹿児島商工	17	56	195	85	110	4（2－2）
5	加藤　義輝	愛媛	新居浜工	17	55.7	192.5	90	102.5	4（3－1）
6	秋和　保男	東京	東亜商	16	55.7	190	82.5	107.5	3（2－1）
7	田中　泰弘	山口	下関工	18	55.65	185	80	105	
8	加藤　則雄	千葉	習志野	18	55.3	180	80	100	

①斎藤＝S×85　×90　90，J115　×120　120　②山戸＝S82.5　87.5　90，J107.5　112.5　115
③鈴木＝S82.5　×87.5　87.5，J×110　110　×120

フェザー級　　主審　八木　　副審　塩手・藤波

順位	氏名	都道府県	学校名	年齢	体重	トータル	ベスト S	ベスト J	成功回数
1	近藤　信明	三　重	四日市中央工	18	59.55	215	100	115	3（2－1）
2	石井　春彦	秋　田	五　城　目	18	59.4	205	92.5	112.5	5（3－2）
3	今村　孝弘	鹿児島	鹿児島商工	17	58.5	200	90	100	4（2－2）
4	山本　義雄	兵　庫	明　石　北	17	57.55	197.5	87.5	110	3（2－1）
5	渡辺　一晴	新　潟	三　条　工	17	59.9	187.5	82.5	105	3（1－2）
6	木谷　稔	山　口	下　関　工	17	57.3	185	80	105	2（1－1）
7	伊藤　政直	愛　媛	新居浜工	17	59.95	185	82.5	102.5	
8	羽賀　健一	山　形	米　沢　工	17	60	185	77.5	107.5	
9	坂元　誠	東　京	城　西	17	59	162.5	70	92.5	

上位者試技内容　①近藤＝S95　×100　100，J×115　×115　115　②石井＝S85　90　92.5，J107.5　×112.5　112.5　③今村＝S85　×90　90，J105　110　×115

ライト級　　主審　飯高　　副審　坪内・広川

1	水迫　勇	鹿児島	垂　水	17	66.35	235	105	130	4（2－2）
2	金井　峰雄	新　潟	安塚牧分	17	67.05	232.5	105	127.5	3（1－2）
3	菊川　勝也	愛　媛	松山聖陵	17	66.35	215	95	120	3（1－2）
4	松本　貴臣	三　重	亀　山	17	63.35	212.5	95	117.5	5（2－3）
5	工藤　陽久	千　葉	国　分	18	66.7	210	90	120	3（1－2）
6	常深　英登	兵　庫	明　石　北	17	65.5	205	90	115	2（1－1）
7	伊藤　謙司	山　口	下　関　工	18	63.75	195	85	110	
8	尾方　英士	東　京	城　西	18	65.35	185	80	105	
	菅原　俊樹	山　形	羽　黒　工	18	66.95	0	95	0	

①水迫＝S×100　100　105，J125　×130　130　②金井＝S×105　105　×110，J120　127.5　×132.5　③菊川＝S×95　×95　95，J115　120　×122.5

ミドル級　　主審　見目　　副審　桜井・　関

1	小野　正	愛　媛	新居浜工	17	69.05	250	115	135	4（2－2）
2	目黒　正男	新　潟	三　条　工	16	67.95	227.5	105	122.5	5（2－3）
3	岩崎　一幸	鹿児島	垂　水	17	70.6	225	100	125	3（2－1）
4	金井　勝明	兵　庫	神　戸　西	18	70.1	222.5	95	127.5	4（1－3）
5	芝野　賢悟	千　葉	国　分	17	73.5	222.5	97.5	125	5（2－3）
6	高山　利一	山　形	庄　内　農	17	67.9	220	95	125	4（2－2）
7	小松　敏雄	秋　田	秋田経大附	17	74.5	210	90	120	
8	長谷川哲生	三　重	四日市中央工	18	73.9	190	85	105	
9	島村　孝治	東　京	城　西	17	70	185	80	105	

①小野＝S110　115　×120，J130　135　×137.5　②目黒＝S100　105　×107.5，J115　120　122.5　③岩崎＝S95　×100　100，J125　×130　×130

ライトヘビー級　主審　野牧　副審　小林・山口

順位	氏名	都道府県	学校名	年齢	体重	トータル	ベスト S	ベスト S	成功回数
1	戸松　実	秋田	能代工	17	81.25	252.5	110	142.5	4（1—3）
2	駒田　良実	三重	亀山	18	75.05	245	110	135	3（2—1）
3	田中　一	新潟	新潟商	19	75.75	210	90	120	4（2—2）
4	大日向　敦	千葉	国分	16	82.1	140	60	80	2（1—1）

①戸松＝S110　×117.5　×117.5，J135　140　142.5　②駒田＝S105　×110　110，J135　×140　×142.5
③田中＝S85　90　×100，J115　120　×130

▽**一般の部**（Aクラス・第1会場—海神中体育館，Bクラス・第2会場—日本建鉄KK体育館）

フライ級　第1会場　主審　飯高　副審　坪内・森　第2会場　主審　見目　副審　桜井・関

●印以下はスナッチ種目での失格者
◎印は日本記録　タイはタイ記録

順位	氏名	都道府県	職業	年齢	体重	トータル	ベスト S	ベスト J	成功回数
1	竹内　雅朝	東京	日体大	21	51.9	◎タイ225	102.5	122.5	4（2—2）
2	堀越　武	栃木	昭和アルミ	30	51.75	220	100	120	2（1—1）
3	植木　守	千葉	千葉県教育庁	27	52	212.5	87.5	125	3（1—2）
4	大橋　達夫	兵庫	三ノ輪精肉店	24	52	207.5	95	112.5	2（1—1）
5	坪井　彰	静岡	坪井鉄工所	21	52	205	95	115	4（2—2）
6	小川　稔	佐賀	法大	21	51.25	202.5	90	112.5	2（1—1）
7	佐々木孝知	愛知	トヨタ自工	23	51.85	195	85	110	
8	田城　正広	三重	平田野中・教	23	52	195	85	110	
9	組頭健太郎	福井	だるま屋	24	51.75	190	87.5	102.5	
10	馬目　保幸	茨城	山崎ナビスコ	24	51.8	190	80	110	
11	河脇　康治	福岡	北九州大	22	51.45	187.5	80	107.5	
12	栗野　宏	神奈川	慶大	21	51.95	185	85	100	
13	岩崎富太郎	岡山	中京大	20	51.9	182.5	80	102.5	
14	奥村　良弘	京都	大商大	21	51.95	182.5	82.5	100	
15	伊知地辰美	鹿児島	垂水市役所	20	51.55	180	80	100	
16	加藤　尚基	岐阜	愛知学院大	21	51.95	177.5	77.5	100	
17	芳の内　厚	愛媛	自営	19	50.3	175	75	100	
18	江角　文夫	島根	一畑タクシー	25	51.8	175	75	100	
19	宮内貞四郎	埼玉	日本信号	28	51.7	170	75	95	
20	柴田　健次	熊本	テーラーシバタ	24	51.75	170	75	95	
21	阿部　進	山形	駒大	20	51.3	160	70	90	
22	森本　幸雄	和歌山	大商大	19	51.55	160	70	90	
23	植村　康裕	奈良	竜谷大	19	51.7	145	65	80	
	屋根下　修	大阪	自営	24	51.9	0	90	0	

●大野　武（新潟・大野商店），香西　正（香川・県立武道館）

①竹内＝S97.5　×102.5　×102.5，J×117.5　117.5　122.5　②堀越＝S100　×105　×105，J×120　120　×125
③植木＝S×87.5　87.5　×92.5，J117.5　×122.5　125

〔注〕　竹内雅朝　スナッチ4回目 106*kg*　世界記録挑戦　失敗
　　堀越　武　〃　〃　〃　〃

バンタム級

	第1会場		第2会場	
	主審	副審	主審	副審
	八木	塩手・藤波	野牧	小林・桜井

順位	氏名	都道府県	職業	年齢	体重	トータル	ベスト S	ベスト J	成功回数
1	玉井 昇治	静岡	中京大	21	55.25	237.5	~~150~~ 105	132.5	4（2－2）
2	高橋 力	愛知	名電工教	25	55.25	235	100	135	3（1－2）
3	田中 憲雅	青森	拓大	25	55.9	235	105	130	4（2－2）
4	片山 栄一	福岡	九州路本舗	24	55.35	225	100	125	3（2－1）
5	松ケ迫憲生	千葉	ユアサフナショク	24	54.85	220	97.5	122.5	3（1－2）
6	佐藤 正二	宮城	日体大	22	55.5	220	100	120	2（1－1）
7	鷹嘴 文昭	岩手	盛岡三高・教	22	55.7	220	95	125	
8	長谷川幸助	埼玉	長根商事	23	56	220	100	120	
9	善教 進	広島	佐伯産業	25	55.15	217.5	97.5	120	
10	高野 滋	福島	福島ガス	20	55.55	215	100	115	
11	東 照雄	和歌山	田辺ナショナル	21	55.85	215	100	115	
12	野田 能史	熊本	明大	20	55.35	210	95	115	
13	猪狩 光正	栃木	萬自動車	28	55.95	210	95	115	
14	上田 稔	三重	中京大	18	55.35	207.5	92.5	115	
15	桜井 信一	岐阜	シンガポールKK	24	55.75	207.5	97.5	110	
16	赤尾 豊繁	山梨	甲府信用金庫	24	55.9	202.5	90	112.5	
17	田原 良英	島根	早大	22	55.8	200	85	115	
18	篠田 健次	山口	日体大	22	55.85	200	90	110	
19	深味 正三	北海道	日本製鋼所	27	55.9	200	90	110	
20	長元 朝勝	沖縄	国士館大	23	54.75	195	85	110	
21	大正谷 稔	徳島	徳島造船山下組	25	55.95	195	85	110	
22	加藤 光晴	茨城	日立化成山崎工場	22	56	195	85	110	
23	小林 洋一	大分	新日鉄大分製作所	22	55.35	190	77.5	112.5	
24	谷口 勝樹	山形	山形大	23	55.85	182.5	77.5	105	
25	新井 一慶	群馬	市光工業	19	55.2	180	80	100	
26	淵脇 正三	鹿児島	淵脇材木店	25	55.75	180	80	100	
27	佐藤 政雄	京都	竜谷大	20	55.85	180	80	100	
28	佐藤 和志	香川	東讃農協	21	55.6	165	75	90	
	阿部 高一	新潟	福田組	28	55.65	0	95	0	
	二柳 順蔵	滋賀	萬香堂	25	56	0	95	0	
	岩井 史雄	長野	松下電送	22	55.7	0	65	0	

●斎藤久治郎（秋田・五城目小職），前田勝秀（佐賀・明大）

①玉井＝S×100　100　105，J127.5　×132.5　132.5　②高橋＝S100　×105　×105，J130　135　×137.5

③田中＝S100　105　×107.5，J125　130　×135

フェザー級

第1会場		第2会場	
主審	副審	主審	副審
見目	小林・平川	八木	塩手・藤波

順位	氏名	都道府県	職業	年齢	体重	トータル	ベスト S	ベスト J	成功回数
1	斎藤　隆	山形	日体大	20	59.5	262.5	110	152.5	5（2—3）
2	後藤　節哉	熊本	日大	20	59.75	262.5	117.5	145	5（3—2）
3	安藤　謙吉	岐阜	土岐高・教	23	59.7	257.5	112.5	145	4（2—2）
4	畑中　隆人	大分	日田市役所	24	60	255	115	140	3（1—2）
5	熊田　孝夫	茨城	高萩工高・教	22	59.95	252.5	117.5	135	6（3—3）
6	宇良　宗宏	沖縄	自営	26	60	245	110	135	
7	古野　文彦	福岡	丸和KK	27	59.65	240	107.5	132.5	
8	金山　真二	富山	中大	22	59.1	232.5	102.5	130	
9	安保　重明	和歌山	県教育委員会	22	59.6	232.5	100	132.5	
10	宍戸　幸次	宮城	岩沼市役所	20	58.6	230	105	125	
11	中川　兼喜	秋田	法大	22	59.3	230	100	130	
12	黒江　敏文	岡山	関西大	21	60	230	100	130	
13	若木　逸幸	北海道	中大	21	60	225	105	120	
14	鈴木　誠	静岡	中京大	22	59.65	220	95	125	
15	鈴木　利夫	福島	明大	20	59.75	220	100	120	
16	加藤　忠明	三重	四日市倉庫	30	59.35	217.5	95	122.5	
17	上木　弘次	福井	法大	21	59.55	215	95	120	
18	阿賀田弘二	愛媛	中京大	20	59.65	215	100	115	
19	大井　成夫	山口	中大	21	59.95	215	90	125	
20	太田喜代次	滋賀	松下電器	25	60	212.5	95	117.5	
21	古沢　慎一	新潟	中大	20	59.45	210	90	120	
22	西垣　進	京都	自営	36	59.55	210	90	120	
23	古庄　紀治	徳島	徳島出雲殿	25	59.7	210	95	115	
24	菊地　則行	岩手	日体大	20	59.95	210	90	120	
25	吉田　克己	愛知	県警	25	59.85	205	90	115	
26	奥田　吉美	広島	備後板金	27	59.9	202.5	87.5	115	
27	島田　好人	奈良	帝塚山学院勤	24	57.55	200	90	110	
28	山崎　俊二	香川	関西大	22	60	200	90	110	
29	小川　高志	島根	中京大	19	59.8	195	85	110	
30	古屋　真喜	山梨	自営	29	59.95	195	90	105	
31	尾村　清文	鹿児島	脇田電設	19	59.85	190	85	105	
32	原田　具一	佐賀	佐賀板紙	23	58.45	182.5	82.5	100	
33	田崎　清司	栃木	昭和アルミ	25	58.45	175	80	95	
34	押川　信義	宮崎	落合平安堂	22	59.75	162.5	70	92.5	
	島屋　八生	長崎	日体大	20	59.45	0	105	0	

●上野正雄（群馬・日新電機）

①斎藤＝S105　×110　110，J142.5　147.5　152.5　②後藤＝S110　115　117.5，J140　145　×147.5

③安藤＝S107.5　112.5　×115，J140　145　×150

〔注〕　1，2位は体重差

ライト級

第1会場		第2会場	
主審	副審	主審	副審
野牧	桜井・塩手	飯高	坪内・広川

順位	氏名	都道府県	職業	年齢	体重	トータル	ベスト S	ベスト J	成功回数
1	加藤 正雄	愛知	中京大職	23	65.7	280	120	160	2（1—1）
2	中田 高広	岐阜	中津高教	24	66.95	280	127.5	152.5	3（2—1）
3	矢野 益行	香川	拓大	25	67	275	125	150	2（1—1）
4	高尾 忠和	大阪	太陽テント	25	67.3	272.5	117.5	155	3（1—2）
5	夏井 武美	秋田	秋田経大付高教	24	67.3	272.5	120	152.5	2（1—1）
6	八田 信之	北海道	八田ふとん店	28	67.5	272.5	120	152.5	3（1—2）
7	小野 光一	群馬	明大	19	67	265	115	150	
8	高田 邦彦	埼玉	自衛隊体校	21	67.05	265	120	145	
9	高見 明男	富山	勤労者青少年ホーム	27	67	262.5	115	147.5	
10	川村 孝	茨城	磯原高教	23	67.5	260	112.5	147.5	
11	徳橋 政実	新潟	徳政商店	24	67.25	257.5	110	147.5	
12	山下 修	山口	自営	24	66.65	255	110	145	
13	屋良 博之	沖縄	日体大	23	66.75	255	115	140	
14	大沢 春彦	青森	三村興業	20	67	252.5	115	137.5	
15	高橋 次夫	和歌山	和歌山工高教	25	66.55	250	110	140	
16	真野 正	広島	真野商店	32	66.95	250	115	135	
17	広瀬 則夫	福井	三各商事	26	67.05	250	110	140	
18	米田 辿	神奈川	日下小教	26	67.3	250	115	135	
19	佐藤 光義	山形	中大	19	67.35	247.5	107.5	140	
20	山下 淳三	福岡	エトーネジ北九州	26	67.25	245	107.5	137.5	
21	土屋 義仁	山梨	勤労青年センター	24	67.4	245	102.5	142.5	
22	大浦 年文	徳島	なにわふとん	23	66.75	242.5	110	132.5	
23	井出 哲夫	静岡	富士市役所	23	67.2	240	105	135	
24	今野 金蔵	福島	福島県警察学校	24	67.25	240	110	130	
25	本田 茂夫	東京	警視庁	22	67.5	237.5	105	132.5	
26	松丸 憲	長崎	三菱電気	23	66.85	235	100	135	
27	岡田 幸二	岡山	中京大	21	64.9	232.5	105	127.5	
28	二柳 裕蔵	滋賀	萬香堂	24	65.9	230	100	130	
29	高力 健	宮崎	高力商店	32	63.2	225	100	125	
30	衛藤 秀人	大分	湯布院町役場	23	61.7	210	90	120	
31	千葉 幹一	岩手	日体大	22	66.05	202.5	92.5	110	
32	上造輪 茂	奈良	奈良交通	22	64.3	192.5	80	112.5	
33	倉滝 由美	島根	農林省中海干拓	18	61	185	80	105	
34	阿部 利和	栃木	萬自動車	18	60.95	180	80	100	
	松本 博幸	熊本	大商大	22	60.05	0	97.5	0	
	長崎 清	三重	山九運輸機工	29	60.02	0	95	0	
	飯島 久雄	長野	松下電送	23	66.05	0	85	0	

●美馬本隆（兵庫・上組），西村清貴（愛媛・曙設計事務所）

①加藤＝S120 ×125 ×125，J160 ×165 ×165 ②中田＝S120 ×127.5 127.5，J ×152.5 152.5 ×157.5

③矢野＝S125 ×130 ×130，J150 ×157.5 ×157.5 （注 1，2位は体重差）

〔注〕 小野光一 ジャーク4回目失敗 163kg J世界記録挑戦

ミドル級

第1会場		第2会場	
主審	副審	主審	副審
飯高	森・坪内	見目	関・桜井

順位	氏名	都道府県	職業	年齢	体重	トータル	ベスト S	ベスト J	成功回数
1	角南　保	愛知	名古屋鉄道	24	73.8	300	130	170	3（1—2）
2	平間　繁夫	宮城	大商大	21	73.7	285	135	150	3（2—1）
3	中尾美喜夫	大阪	自営	28	72.65	280	125	155	4（2—2）
4	三石　悦雄	千葉	ミナト興産	24	74.2	277.5	127.5	150	2（1—1）
5	鈴木　浩司	三重	東芝三重	32	74.2	275	125	150	3（2—1）
6	後藤　長雄	秋田	合川高教	24	72.6	267.5	115	152.5	4（1—3）
7	菊地　俊美	福島	日大教	26	74.6	262.5	110	152.5	
8	福田　太公	茨城	高萩工高教	24	74.75	262.5	117.5	145	
9	荒木　英夫	兵庫	名城大	20	71.05	260	115	145	
10	妹尾　俊治	岡山	香川大	21	71.5	255	107.5	147.5	
11	平田　重野	鹿児島	江戸屋菓子店	22	72.35	255	110	145	
12	永田　忠勝	青森	中京大	19	75	255	110	145	
13	木下　勝弘	大分	大分工高教	32	74.65	250	115	135	
14	山下　孝	山口	明大	18	70.05	245	105	140	
15	鳴海　丈支	新潟	市教育委員会	26	71.55	245	105	140	
16	海東　三郎	京都	日本電池	29	74.3	245	107.5	137.5	
17	増本　博一	佐賀	宮島醤油	23	71.8	242.5	107.5	135	
18	玉井　章喜	愛媛	畑野川小教	26	69.75	240	105	135	
19	武田　健二	埼玉	自衛隊体校	23	71.6	240	105	135	
20	村江　幹生	長崎	日大	21	68.85	235	105	130	
21	吉岡　正次	富山	不二越	23	73.1	235	100	135	
22	浅野　芳信	岐阜	種田石油	30	68.75	230	110	130	
23	喰田　清弓	熊本	金剛金庫	24	74.1	230	105	125	
24	菅原　忠	山形	中京大	19	73.85	227.5	97.5	130	
25	高林　昇	神奈川	自営	27	73.7	225	95	130	
26	飯野　茂夫	栃木	萬自動車	29	67.75	220	95	125	
27	児玉　雅亘	宮崎	児玉林業	31	71.05	215	90	125	
28	松本　竜雄	和歌山	近大	21	72.55	215	90	125	
29	工藤　秀人	岩手	岩手大	19	72.9	215	95	120	
30	中島　俊幸	石川	金沢工大	20	73.85	215	92.5	122.5	
31	松村　雅夫	奈良	奈良市水道局	28	69.65	210	90	120	
32	西内　博	香川	関西学院大	22	71.75	200	85	115	
33	大畑　茂久	島根	関西学大	20	73.85	195	90	105	
34	樋口　賢一	長野	丸山製作所	27	72.1	187.5	80	107.5	
	横山　征之	福岡	開発工事	27	72.75	0	115	0	

●森野覚志（東京・警視庁），岡倉孝則（福井・大商大），名張順朗（北海道・中大）
飯島　真（山梨・法大），片山昌之（広島・大和屋）

①角南＝S130　×135　×135，J160　170　×175　②平間＝S130　135　×137.5，J150　×155　×157.5
③中尾＝S125　×130　130，J150　155　×160

ライトヘビー級

第1会場		第2会場	
主審	副審	主審	副審
八木	塩手・藤波	野牧	小林・山口

順位	氏名	都道府県	職業	年齢	体重	トータル	ベスト S	ベスト J	成功回数
1	吉田 建規	長崎	名城大	22	80.7	287.5	125	162.5	3（2—1）
2	佐藤 薫	埼玉	拓大	24	80.85	285	125	160	2（1—1）
3	安藤 英二	東京	警視庁	25	80.5	277.5	120	157.5	2（1—1）
4	笹本 隆悦	秋田	日大	20	75.1	270	115	155	3（1—2）
5	小菅富十郎	栃木	日体大	21	75.85	270	122.5	147.5	4（2—2）
6	石川 隆一	千葉	八千代高教	23	76.5	270	115	155	
7	山本 隆雄	奈良	奈良県庁	22	82.1	270	115	155	
8	佐々木 大	京都	日本電池	32	81.1	262.5	110	152.5	
9	野呂記代志	北海道	中京大	21	75.25	260	115	145	
10	若林万寿雄	徳島	アルス製作所	23	79.1	260	115	145	
11	酒井 保	大阪	法大	22	75.2	255	115	140	
12	古田 正栄	茨城	ミヤコ	23	75.05	252.5	107.5	145	
13	古賀 徹	熊本	日大	21	81.65	250	112.5	137.5	
14	菅野 学	福島	法大	22	75.05	247.5	110	137.5	
15	高橋 勝己	岡山	三菱自工	27	79.7	245	105	140	
16	古長 光良	大分	明大	21	75.05	242.5	107.5	135	
17	中島 秀春	富山	西井板金	27	81.4	240	107.5	132.5	
18	辻 義秀	福井	嶺北消防署	21	75.3	237.5	107.5	130	
19	出口 進	石川	大商大	19	75.1	235	100	135	
20	加藤 亮	宮崎	扇興運輸	36	75.45	235	100	135	
21	亀井 一徳	山形	中大	18	79.25	235	105	130	
22	大島 道夫	広島	日本鋼管福山	24	76.05	232.5	102.5	130	
23	東田 茂之	三重	中京大	20	75.05	230	100	130	
24	栃内 祐治	岩手	中大	20	80.65	230	105	125	
25	加藤 忠吉	愛媛	住友化学工業	37	80.75	230	100	130	
26	山本 秀明	佐賀	宮島醤油	25	80.9	220	95	125	
27	近藤 武	長野	山本中教	28	77.15	200	85	115	
	辻 茂信	愛知	辻商店	32	76.9	0	115	0	
	佐野 隆	兵庫	明石北高教	29	79.25	0	125	0	
	二森 繁治	神奈川	法大	21	81.45	0	105	0	

●長内久志（青森・拓大）

①吉田＝S120 ×125 125, J162.5 ×167.5 ×170 ②佐藤＝S125 ×130 ×130, J160 ×165 ×165

③安藤＝S×120 ×120 120, J×157.5 ×157.5 157.5

ミドルヘビー級

主審	副審
八木	塩手・飯高

1	大内 仁	東京	警視庁	29	85.55	327.5	◎150	177.5	4（2—2）
2	後藤 良一	福島	後藤組	24	88.85	317.5	137.5	180	2（1—1）
3	下坂 義昭	秋田	船川水産高職	24	89.7	300	130	170	3（1—2）
4	今 定博	青森	中京大	22	83.65	295	130	165	5（2—3）

順位	氏名	都道府県	職業	年齢	体重	トータン	ベスト S	ベスト J	成功回数
5	鈴木　誠司	静岡	鈴誠商店	24	89.15	285	120	165	5（2—3）
6	木村　恵則	和歌山	近大	21	84.3	282.5	122.5	160	4（2—2）
7	山本　功	大阪	坂本工務店	25	88.7	275	125	150	
8	増井　優	徳島	一宮駐在所	27	83.35	267.5	120	147.5	
9	飯塚　憲吉	埼玉	自衛隊体校	22	83.7	260	115	145	
10	上島　政隆	長崎	名城大	19	82.55	255	110	145	
11	大森　康正	京都	南消防署	33	84	255	110	145	
12	加藤　輝男	群馬	群馬県警察	19	84.2	252.5	112.5	140	
13	中村　正	神奈川	近大	21	89.6	250	110	140	
14	遠藤　和男	岐阜	大垣警察署	27	83.05	237.5	107.5	130	
15	浦野　茂喜	福岡	日大	19	88.6	230	100	130	
16	一宮　英起	大分	日産サニー大分	30	83.55	225	100	125	
17	奥村　敏一	北海道	日大	20	82.55	222.5	102.5	120	
18	西浦　道芳	奈良	大仙病院	24	82.55	220	95	125	
19	赤木　巧	広島	広島工大	20	86.3	210	95	115	

●藤代末男（兵庫・尼崎市教育委員会），稲葉　忠（千葉・東洋エンジニアリング），佐藤　稔（山口・中京大）
①大内＝S145　×150　150，J172.5　×177.5　177.5　②後藤＝S×137.5　137.5　×142.5，J180　×192.5　×192.5　③下坂＝S130　×140　×140，J165　170　×180

ヘビー級　　主審　見目　　副審　桜井・関

1	杉本　誠起	岡山	岡山大砂田外科	28	100.6	300	130	170	5（2—3）
2	渡辺　泰行	千葉	中大職	32	91.9	297.5	132.5	165	5（3—2）
3	岩崎　雄二	東京	警視庁	25	106.8	285	125	160	2（1—1）
4	岡本　実	神奈川	法大	22	99.9	277.5	120	157.5	6（3—3）
5	柴崎　恒二	群馬	マニハ食品	22	90.1	275	120	155	4（2—2）
6	名合　武	山口	明大	22	90.1	265	110	155	4（1—3）
7	西本　研一	徳島	徳島大	22	104.6	260	115	145	
8	佐治　直哉	福井	大商大	21	90.1	252.5	107.5	145	
9	鈴木　勝	静岡	明大	20	99.3	252.5	110	142.5	
10	檜垣　英治	山梨	日大	21	91.6	250	110	140	
11	森　唯年	香川	関西学大	20	90.2	200	90	110	
	水田　幸男	大阪	千代田生命	23	92	0	127.5	0	
	曽田　幹人	島根	邑智高・教	25	93.6	0	120	0	

●大城　進（兵庫・大商大）
①杉本＝S×125　125　130，J160　165　170　②渡辺＝S122.5　130　132.5，J160　165　×167.5
③岩崎＝S×125　125　×130，J×160　160　×175

高校種目別順位：①鹿児島10　②新潟7　③秋田・兵庫5.5　⑤山形4　⑥三重3　⑦愛媛2　⑧千葉1
一般種目別順位：①東京10　②愛知7　③千葉6　④秋田・静岡4.5　⑥岐阜・大阪2.5　⑧青森・栃木0.5
▽総合順位（天皇杯得点）：①鹿児島・東京・秋田7.66　④新潟・愛知・千葉4　⑦兵庫2　⑧静岡1

得　点　表　（一般の部）

段級 / 県名	フライ級	バンタム級	フェザー級	ライト級	ミドル級	ライトヘビー級	ミドルヘビー級	ヘビー級	合計得点	順位
北海道				3					3	25
青森県	6						5		11	8
岩手県	2								2	31
宮城県	3				7				10	10
秋田県				4	3	5	6		18	4
山形県			10						10	10
福島県					2		7		9	14
茨城県			4		1				5	20
栃木県	7					4			11	8
群馬県				2				4	6	18
埼玉県		1		1		7			9	14
東京都	10					6	10	6	32	1
神奈川県								5	5	20
山梨県										
新潟県										
長野県										
富山県			1						1	33
石川県										
福井県								1	1	33
静岡県	4	10					4		18	4
愛知県	2	7		10	10				29	2
三重県	1				4				5	20
岐阜県			6	7					13	6
滋賀県										
京都府						1			1	33
大阪府				5	6		2		13	6
兵庫県	5								5	20
奈良県						2			2	31
和歌山県							3		3	25
鳥取県										
島根県										
岡山県								10	10	10
広島県										
山口県								3	3	25
香川県				6					6	18
徳島県							1	2	3	25
愛媛県										
高知県										
福岡県		5	2						7	16
佐賀県	3								3	25
長崎県						10			10	10
熊本県			7						7	16
大分県			5						5	20
宮崎県										
鹿児島県										
沖縄県			3						3	25
千葉県	6	4			5	3		7	25	3

得　点　表　（高校の部）

段級 / 県名	フライ級	バンタム級	フェザー級	ライト級	ミドル級	ライトヘビー級	合計得点	順位
秋田県	2	6	7		2	10	27	3
山形県	10	10	1		3		24	5
東京都	1	3		1			5	10
新潟県	5		4	7	7	6	29	2
三重県			10	5	1	7	23	6
兵庫県	7	7	5	3	5		27	3
山口県	3	2	3	2			10	9
愛媛県		4	2	6	10		22	7
鹿児島県	6	5	6	10	6		33	1
千葉県	4	1		4	4	5	18	8

朗　報

重症の森江君，急転快方へ

昨年の全日本社会人選手権大会の試合中に重傷を負いずっと入院加療中だった 森江友行君（三菱自工水島）。事故当時から足，腰も立たない重症とあって関係者はじめリフター一同をやきもきさせていた。ところが最近になって急激に回復のきざしが見えはじめ，足先の感覚が戻ってくるとともに，一躍歩行練習まで出来るようになった。医学的にはくわしく述べられないが，何しろ背椎損傷――神経破壊の症状だっただけに，奇跡にも近い回復ぶり。本人からも早速日本協会宛に実感のこもった喜びの知らせが届いた。

下に掲げたのは，日本協会に送られて来た彼の手記。苦しいベッド生活のさ中，まだ車椅子に乗ることですら夢だった段階で書かれたもの。この段階でも常に希望を燃やし続けていた。肉体的苦痛を上まわる精神的重圧をはね返えした同君の助力に敬意を表したい。ほんとに良かった森江君。しかしまだ完全に治ったわけじゃなく，まだまだ永い闘病生活が続く。がんばれ森江君。

事故以後，バーベルから遠ざかるばかりか，仕事からも離れざるを得なくなった同君のため，事故当時見舞金が集められ，さらに日本協会，彼の所属する広島県協会等が軸になって，本格的に彼をバックアップすることとなり今なお見舞金が集められている。

『足　音』

この様な苦しい病気があったとは，私は知らなかった。

また，私を見守る周囲の人も知らなかったであろう。

長い病院生活を送る様になったのは，昨年の11月17日三重県亀山市で行なわれた，全日本社会人選手権大会のことである。私は，フライ級に出場した。この試合でプレス競技が無くなる。また，私にとっては選手生活最後の試合でもあった。プレス３回目の試技85*。，この重量を挙げないと入賞は出来ないと思った。クリーン，セット，主審の合図で私はプレスした。その一瞬，谷底に落ちる様な気がしたのは今でも頭の中に残っている。立ち上がろうとしたが立つ事が出来ない，どうしたのだろう？

長い間，歩き続けたこの私の足が，無い様な気がしてならない。

私は自分の足を見ようとしたが，首が回らなく，見ることすら出来なかった。救急車の来るまで，何分たったであろうか，私には長い時間であった。その間，協会の諸先生方をはじめ関係者の人達の顔が目に入った，どこかでカメラのフラッシュが私を輝かす。

『バカヤロー見せ物ではないぞ！』と，叱る人，救急車の来るまで押し問答が続いた。ピーポー，ピーポーと救急車にゆられ痛む腹を押えて病院へ向う。先生，看護婦さんの白衣が目に入って来た。その瞬間，何ともいえぬ恐怖感が頭をかすめる。と同時に，暗やみの彼方へすいこまれて行く錯覚をおぼえる……。

第11胸推圧迫骨折と，診断された。この動かない足を見ては一段と不安が高まるのである。

先生に何度もたずねた。この足は治るのですか？

何も言ってくれない，ただし気長に治すのだとの一言である。私を見守る周囲の人ばかりが治る，心配するなと言ってくれるそして隙を見ては廊下に出てひとこと，ふたこと，また病室へ何を話していたのだろうか，私に聞えるのは家族と会社に連絡する電話ばかりであった。

その夜おそく妻と兄，県の理事長が病室に飛び込んで来た。妻は涙で目ははれあがり，顔はクシャ，クシャである。ベットで寝ている私の手を握り不安そうな顔で又涙を流す。

兄はベッドの端で，ただだまって私を見つめるのである。三日間激痛に苦しみ，先生のはからいで名古屋に転院一ケ月後広島に帰って来た。12月19日副院長先生の診断が終り，ストレッチャーで病室へ私はその時脊髄損傷と言う病名を知ったのである。

当時病状も先の見通しも分らず，不安な私は色々と教えて載きたい気にかられ，妻に頼んで同じ様な患者さんに部屋に来てもらった。そこで脊髄損傷はいかなるものかを聞き，強いショックを受けた……最後に，今より悪くはならないから頑張りましょう！　この言葉がどれほど励ましになった事か，今でも感謝しています。又人と言う字の意味，互に寄り合い，ささえ合って出来ているこの字，今迄元気な時にはとかく自分の力で生きている様な気になっていたが，こうして病気になりからだが不自由になると，ほとんどの事が自分で出来ず，妻はおろか皆さんの力添がなければ動きがとれず，人間相互扶助の精神がいかに大切で有難い事であるかを，今身にしみて感じられます。

たとえ足が治る事が無いとしても，車椅子に乗ってでも，県協会の為に協力して行かなければならない，いや協力しなければならないと思っているのです。

今までさんざん世の人々にお世話になり，それらの人々や社会にやっと恩返し出来る年頃になって，この様な病院生活を送る様になったが出来るだけ身体の快復を図り自分の思いが遂げられる事を祈っています。

私は職場で『安全第一』と言う字を見，耳にタコの出来るほど聞いて来た，それなのにちょっとのことでこの様な事故を起して残念でならない。

見舞客が毎週の様に来て，足はどうかと尋ねる，いつも同じ返事である。私はこの返事が一番つらく感じるのである。私に付添う妻も変な顔で見る。いつこの返事が変わるかと……。車椅子に乗れる日がいつくるのであろうか？

廊下を見れば多くの人が車椅子でリハビリーテーションへと大きな希望を持って，いそぎ行くあのタイヤの音がだんだん細く小さく聞えるのである。

ベットに寝たまま，窓越に外を見れば，社会復帰しようと一生懸命西へ東へと歩き続けるその足音がパタパタと，いつまでも私の耳からきえないのである。

妻も私越に見て残念そうに顔を見合せる毎日なのである。

この私の足で足音の出せる日がいつ来るであろうか？……希望を持ち続ける私なのである。

松葉づえを頼りに歩行練習を始めた森江君。手記にある通り，回復のきざしすらつかめなかった時期の苦しい闘病生活を耐え抜いた同君だが，表情はひときわ明るい。

今はなき
大河原氏をしのぶ

ウエイトリフティングよもやまばなし
（その4）

日本ウエイトリフティング協会
副会長　**井　口　幸　男**

若かりしころの大河原氏
東京市療養所におけるエキジビション
40年以上も前の写真である。

僕からみた彼は実に楽しい生涯であったと思う。自分の好きなスポーツをやり，好きな酒を飲み，常に健康で幾多の財をなすと雖も彼のような生涯は送れるものではなかろう。毎日自分の思うようなスケジュールを組み，どこの筋肉が強くなったとか，どこの所を強くするとかとそれのみに熱中し，腕を曲げては万人に一人として見ることの出来ないような力瘤を出しては楽しんでいる。又彼の得意とする腕相撲の話となると人が変ったように真剣になり，一つ位負けないものを持つべきだと主張するこの心構えは他から見ると馬鹿げたことと思うかもしれないが本人にとっては一つの信念であり，みていて実に幸福そうで頬笑ましい限りであった。それが自分に与えられた天の指命と感じ一生懸命鍛錬に励むそしてその中から彼独特の人生哲学を身につけある時は深山幽呑に住み木の実を食べ頭髪は延びるにまかせ仙人のような生活の中に身を投じて目的を達成しようと努力し自己の力の限界に挑戦しては考え考えては再びたちむかうそしてそれの限界を語った時人生の空しさ果敢無さを身に染みて感じたことだろう。嘗て遠山満翁の紹介状を手に満州を16貫の鉄棒をふって歩いた大河原捻鉄棒は力すなわち誰れにも出来ないという優越感と健康が最大の幸福であるという自負心が無我無中でそうさしたのであろう。彼と私は晩年重量挙を共にして感じたことは正邪が明確で枯れきった人柄を感じとったのである。重い鉄棒を振ったとてそれがなにになるかと一笑に負す人もあるだろうが私は決してそうは思わぬ人は生涯において目指す目的に無中になりそれに没頭している時こそ尊ぶべき真摯な姿ではなかろうか，彼が頭髪の延びるのと鍛錬とを競争した所以もここにあると思うのである。彼は又ある時私に話すのに僕は子供がないので里子ばかり四人もいると聞かされた，それが皆揃って父ちゃん母ちゃんといって懐き実に可愛いいものだと目を細めて語ってくれたその言葉の中からなんという気の優しい人かと感じとったのである。酒好きな彼は毎夜の晩酌を欠がすことなくそれも焼酎にビールを交ぜて飲むという強いものでそのために一定量を越さぬよう注意し前以て子供に止めなさいといわせてそれをちゃんと護るという，それが捻鉄棒大河原氏の姿なのである。里子をもらい受け我が子にも劣らない育て方をしそして子供からの注意をよく護る真摯な態度！　武芸者にも似た大河原氏の反面の人柄は斯くの如きもので実に心地よさを感ずるのである。現今コインロッカーに捨児する親達に聞かせてやりたい話ではなかろうか又彼は晩年菓子屋を開業したが自分は度量衡に弱いので一切家内まかせだと笑っていた，奥さんは彼を信じて好きなことをさしてやった，その上彼からは逆に健康方を学び取られた，彼曰く家内が最近毎朝一生懸命運動をするようになったと語ってくれた，どんなことをするのかと尋ねると『両足跳びを百回，体前屈の柔軟体操を数十回』するとのことであった。夫婦円満は健康からと解りきったことながらそれを実行したのである。可愛いい奥さんを残して去ることは心残りだったことと思う。70才で人生を終り，他界後重量挙，ボクシング等のスポーツ界発展の為に尽した功績により正六位勲五等双光旭日章が授与された，定めし地下で恐縮している笑顔が目に浮かぶようである。僕はここに彼の生涯の一端を紹介し冥福を祈る次第である。

関係者のご協力により設立基金が着々と集ってきています。
納入状況は次ページの通りですが，現在も受け付け中です。
納入される方は都道府県協会を通じてお願いします。

日本協会法人化その後の動き

（47年11月5日以降）

47年11月5日(日)

47年度臨時評議員会において

1. 設立経過と募金状況の報告

2. 法人化への財産引継ぎ事項の承認がなされた。

47年11月中旬～48年1月中旬→日本体協
48年1月下旬～48年3月上旬→文部省 } の指導を受ける。

両者共に，法人設立を歓迎しながらも

1. 全国的な基盤と全国的な意志による設立（支部協会の下部組織であるクラブ数の増加と登録人口の増加を考える必要がある。）

2. 競技選手の強化はもちろんであるが，底辺拡張と国民総体育の情勢下における体力づくりに直結する運動としての大衆化の促進（国民の体力向上のため，広く国民に実施される方法の考究と，競技普及の努力が必要）

3. 国民総体育に即応する組織の強化
（幅広い事業施行のため，責任・実行の体系を明らかにするため，委員会組織の強化と事務局長制の設置が必要）

4. これらすべての事業遂行のできる機能とその財源を自己調達できる可能性を明らかにする必要がある。
（自己財源を確立し，運営のための予算計画の根拠をつくる必要がある。したがってそのための定款の再検討・運営費確保の検討が生じた。）

48年6月3日(日)

定例全国評議員会で，前記指導による定款・運営費確保の再検討と，日本体協の事務財務管理が詳細化し，その処理等のため，今年度初めに予定した申請手続きが出来なかったことについて報告がなされた。

48年7月29日(日)

第5回設立発起人会

1. 6月3日定例評議員会報告（47年11月より48年3月まで日体協・文部省より指導事項）事項を議題として審議

2. 定款案修正

○理事数を20名以内に

○理事長の名称は代表者に誤解されやすいので専務理事に変更

○総会出席会員は定っているので評議員の項は抹消

○顧問参与は名誉会員として一括に扱うべきとして顧問参与の項を抹消

3. 上記決定によって，昨年選出された役員（理事・監事）について，全面解消し，次の通り新規選出された。

理事

（東）佐藤・遠藤・五月女・林

（中）椙森・中村・野牧・福井

（西）馬場・押野・黒川

（首都圏）右島・野中(義)・田島

（その他）西川・関根・野中(乾)・斎野

監事

（東）森　（中）上田　（西）中西

4. 残る議題はすべて，上記新役員会に一任された。

48年9月9日(日)

設立当初役員打合せ会

役員補充・組織・運営資金等について，具体的に打合せし，次回は10月7日に設立当初理事会合として開催することとした。

法人化基金納入状況

48.11. 1 現在

	拠出者	金額
北海道		50,000
青森		30,000
岩手		30,000
宮城		50,000
秋田		150,000
	県協会	50,000
	佐藤育秀	100,000
山形		50,000
	華山親義	20,000
	県協会役員一同	30,000
福島		70,000
	額賀任	50,000
	遠藤滝軌	10,000
	飯高延由	10,000
茨城		120,000
	県協会	50,000
	中野次男	30,000
	塩手満夫	20,000
	柴田章	20,000
栃木		60,000
	県協会	40,000
	五月女兵吾	20,000
群馬		50,000
埼玉		60,000
	県協会	50,000
	林克也	10,000
千葉		70,000
	右島四郎	70,000
東京		1,275,000
	都協会	50,000
	西川正一	1,050,000
	野中義治	70,000
	野中乾	40,000
	飯田定太郎	50,000
	斎野健一	10,000
	小山高栄	5,000
神奈川		154,000
	田島吉三	40,000
	不二サッシ工業ク	10,000
	不二サッシ玉川ク	5,000
	慶大ク	20,000
	防大ク	10,000
	日立戸塚ク	2,000
	小野勲	1,000
	渡辺勝広	1,000
	藤原講平	1,000
	米田辿	1,000
	吉田茂一	1,000
	藤本敬二	1,000
	塚原志郎	1,000
	佐藤好正	1,000
	遠藤輝彦	1,000
	長岡幸雄	1,000
	岩淵忠実	1,000
	福岡耕三	1,000
	佐々木武男	1,000
	小笠原通博	1,000
	甲田肇	2,000
	小屋原祗彦	2,000
	植田泰夫	3,000
	井上一夫	3,000
	福田寅幸	3,000
	郷芳夫	4,000
	瀬下岩朗	4,000
	猿谷九竜	4,000
	対馬範男	5,000
	土屋清敬	5,000
	平川義美	18,000
山梨		50,000
	村田一郎	10,000
	望月正一	10,000
	古屋真喜	10,000
	土屋義仁	6,000
	有泉晴広	5,000
	赤尾豊繁	5,000
	中込重雄	2,000
	阪野一秋	2,000
新潟		60,000
	県協会	50,000
	金井二郎	10,000
長野		25,000
	県協会	20,000
	吉田末男	5,000
富山		185,000

拠出者	金額
県協会	50,000
梱森盛光	40,000
上田国義	10,000
曽根善一	10,000
森健三	10,000
奥沢友作	10,000
金山正治	10,000
大西久俊	10,000
石倉伊吉	10,000
吉川喬	5,000
高見芳雄	5,000
菅沼義清	5,000
宮沢敏雄	5,000
北川宗次	5,000
石川	**20,000**
県協会	5,000
島田雄章	10,000
岡田忠義	5,000
福井	**110,000**
県協会	80,000
稲葉清嗣	20,000
中野実典	10,000
静岡	**70,000**
県協会	50,000
故・鈴木善六	10,000
滝戸篤	10,000
愛知	**110,000**
加藤錐城	30,000
中村清	20,000
野牧一雄	20,000
トヨタ自工ク	20,000
名鉄ク	20,000
岐阜	**50,000**
木村秀雄	30,000
福井不二男	10,000
藤岡英機	5,000
安藤昭久	5,000
三重	**40,000**
滋賀	**10,000**
岩井克美	10,000
京都	**50,000**
奈良	**70,000**
木村鷹之助	70,000
大阪	**131,000**
馬場太郎	40,000

拠出者	金額
押野清次	20,000
中西藤好	20,000
森優	20,000
阪上勝美	10,000
山下雅章	2,000
松浦道夫	2,000
鈴木裕之	2,000
長谷川修一郎	2,000
中西仁志	2,000
西野明	2,000
吉井孝彰	3,000
吉村峻治	1,000
荻原稔	5,000
和歌山	**60,000**
県協会	50,000
中川清	10,000
兵庫	**75,000**
県協会役員一同	75,000
鳥取	——
島根	**30,000**
吉田慶久	3,000
瀬尾正三	3,000
渡辺義治	3,000
板垣邦彦	3,000
渡辺幸正	2,000
松井初雄	2,000
持田憲一	2,000
石飛満	2,000
三成幸一	2,000
前島三雄	2,000
梅木和夫	2,000
錦織清	2,000
吉田敏男	2,000
岡山	**60,000**
広川京一	10,000
三宅太郎	10,000
丸山晃平	5,000
板谷誠一	10,000
石井重四郎	5,000
三菱自工水島ク	4,000
県高体連専門部	2,000
三菱石油水島	3,000
大山忠夫	2,000
吉田智浩	2,000
岡山大学ク	1,000

拠出者	金額
前原且典	1,000
三宅敏明	1,000
杉本誠紀	1,000
妹尾一栄	1,000
田中博文	1,000
花岡充憲	500
中川昇	500
広島	**50,000**
橋高良実	23,000
宇田実	5,000
影山彰男	3,000
金只彰宏	2,000
上野正	2,000
木戸正	2,000
亀山清治	1,000
田中一寿	1,000
池田葆	1,000
日野治	1,000
中岡公治	1,000
藤井智章	1,000
真野正	1,000
三菱三原ク	1,000
府中高校ク	5,000
山口	**47,000**
香川	**50,000**
鎌田道海	50,000
徳島	**100,000**
河野康一	30,000
藤原八郎	20,000
古庄理一郎	10,000
田村茂夫	10,000
藤原昭	5,000
向井五郎	5,000
奥村弘安	5,000
藍川勝市	5,000
古庄輝直	5,000
大浦年文	5,000
愛媛	**115,000**
黒川晋	20,000
県協会	95,000
福岡	**98,000**
亀石敏夫	30,000

拠出者	金額
吉村康	20,000
美山豊	10,000
中道正二	5,000
仰木重利	5,000
電源若松火力発電所	5,000
築紫工業高校ク	3,000
九州共立一学ク	2,000
安川電機ク	2,000
北九州大学ク	1,000
八幡大学ク	1,000
高築守久	1,000
山下淳二	1,000
朝井俊一	1,000
上原仁志	1,000
石川彰	1,000
渡辺八郎	1,000
笠原正輝	1,000
吉田登	1,000
古野文彦	1,000
横山征之	1,000
中村忠紀	1,000
松本三千男	1,000
加野毅	1,000
岡村英則	1,000
大分	**30,000**
佐賀	**10,000**
宮崎	**40,000**
県協会	30,000
児玉雅亘	10,000
熊本	**20,000**
長崎	**10,000**
鹿児島	**40,000**
沖縄	**40,000**
協会	10,000
松川国春	20,000
前原信明	5,000
古堅宗秀	5,000
学連	**60,000**
水谷光壮	20,000
関根吉郎	20,000
石川雅康	20,000
上坂正信	**200,000**

基金	4,335,000
移譲領金	2,395,900
利息	192,022
計	**6,922,922**

管理状況	
東洋信託銀行	6,900,000
富士銀行（普）	17,022
〃（〃）	5,900
現金	0
計	**6,922,922**

◇最近のブレティン（ＩＷＦ会報）から

ハバナ市で開かれたＩＷＦ理事会，同総会における決定事項は以下の通り。

◎バーベルをおろす際のルール一部改正。ゴム製バーベル使用による危険防止の目的で。
最終姿勢からバーベルをおろすとき，現行ルールではひざから上でバーをはなしてはいけないことになっている。（競技規則第23条４のＢ，Ｃ各項と解説２を参照）弾力，反発力の強いゴム製ディスクをつけたバーベルでは，この規定を守ると手首をきずつける危険性が生じてきたので，バーの位置が腰の線を通過したあと手を離してもいいように，部分修正された。この場合でも投げおろしは許されない。なおこの改正ルールは，ゴム製ディスク使用のみに限定されている。注＝国際ルール収正にともなう競技規則の改正部分は，近く決定発表される。

◎世界選手権大会の開催国決まる。1978年はインドネシア，1979年はブルガリアで（期日，都市名は未定）

◎人事
Ｌ・Ｄ・レオン氏（パナマ）がＩＷＦ理事に，Ｍ・Ｄ・フレイド（キューバ），Ｊ・ペルツペルスキ（ポーランド）両氏がＩＷＦ技術委員に，それぞれ選出された。

◎ＩＷＦのトレーニング教本出来あがる
ソ連のＡ・ボロビェフ博士の手によって作業が進められているが，英語版のものは来年から発表される。この教本は将来のコーチクリニックの時の基礎になるものである。

◎1974年の国際コーチ，レフェリークリニックの日程は１月にエクアドル。６月か７月にフランス。12月にパナマでそれぞれ聞かれる。このほか９月にギリシャで世界会議が催される。

マレーシァ協会マーク

アジア連盟マーク

カナダ・ケベック州協会マーク

ウエイトリフティング　No. 6
日本ウエイトリフティング協会会報

定価１部 200円
送料別

発行日　昭和48年10月10日
発行者　日本ウエイトリフティング協会
東京都渋谷区神南１の１の１
岸記念体育会館内
電話 03（467）３１１１（代）
編集責任者　野中義治
印刷者　福田晴久
明宏印刷株式会社
東京都豊島区南大塚２の29の８
電話 03（９４７）４０３４

BRAVAS
現代を生きる香り
資生堂ブラバス
SHISEIDO
BRAVAS
HAIR TONIC (BOSKY)
SHISEIDO
AVAS
IR TONIC
●ヘアトニック(バスキー)(医薬部外品)1,000円
●ヘアトニック(医薬部外品)――― 1,000円

世界に誇る
UESAKAのバーベル

上坂の器具は安心してご使用いただけます。
長い間の経験と技術が生み出した製品だからです。

日本ウェイトリフティング協会認定品指定工場

U.K 上坂鉄工所

東京都墨田区本所4丁目28番8号
電話　東京(622)8171,8096,1758(代表)